

令和5年(2023年)10月6日

教育委員 各位

日野市教育委員会

教育長 堀川 拓郎

令和5年度第7回教育委員会定例会の開催について

日野市教育委員会告示第7号により、下記のとおり令和5年度第7回教育委員会定例会を開催します。定刻までに御参集ください。

開催日時

令和5年(2023年)10月12日(木) 午後2時

開催場所

506会議室

案件

議案

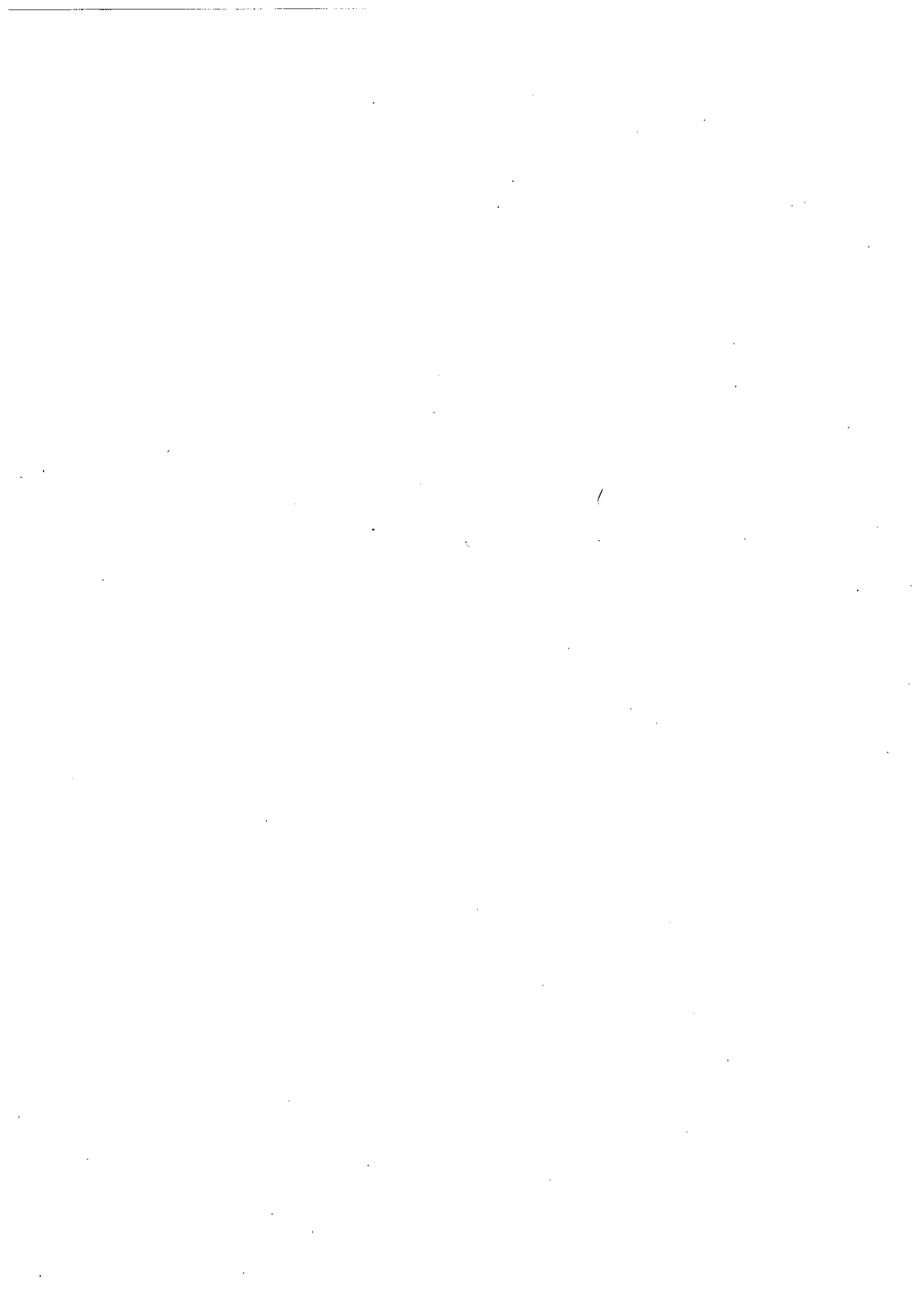
- 第19号 教育委員会職員人事について
- 第20号 教育委員会職員人事の専決処分について
- 第21号 教育管理職の措置の専決処分について

請願

- 第5-7号 「副校長・教頭マネジメント支援員配置や管理職手当増額等、上意下達の学校管理強化」が本音の、「ニセ”学校働き方”改革”を抜本的に改めるよう、文科省宛意見書提出を求める等の請願

報告事項

- 第19号 令和5年第3回日野市議会定例会の報告
- 第20号 令和5年度就学援助申請者数及び認定者数(令和5年4月～令和5年6月)
- 第21号 令和5年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数
- 第22号 行政情報の公開請求
- 第23号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(令和5年4月～令和5年9月)



議案第19号

教育委員会職員人事について

上記議案を提出する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

教育委員会職員に対して人事発令を行うものです。

省略

議案第20号

教育委員会職員人事の専決処分について

上記議案を提出する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

教育委員会職員に対する人事異動に伴う人事発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により人事発令を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

省略

議案第21号

教育管理職の措置の専決処分について

上記議案を提出する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

非公開



請願審査

請願番号	請願第5-7号
受付年月日	令和5年9月15日
件名	「副校長・教頭マネジメント支援員配置や管理職手当増額等、上意下達の学校管理強化」が本音の、「ニセ」学校働き方”改革”を抜本的に改めるよう、文科省宛意見書提出を求める等の請願
請願者住所氏名	

「副校長・教頭マネジメント支援員配置や管理職手当増額等、上意下達の学校管理強化」が本音の、ニセ“学校働き方”改革を抜本的に改めるよう、文科省宛意見書提出を求める等の請願

2 文科省が8月30日、HPにUPした『2024年度予算概算主要事項・初中局』は、1・9・12頁に、

——「副校長・教頭マネジメント支援員」の配置（17億円、新規）／公立小中学校の副校長や教頭の業務を補佐する「副校長・教頭マネジメント支援員」を新たに2350人配置する。副校長・教頭は22年度に文科省が実施した教員の勤務実態調査において、平日に最も長時間労働を強いられていることが明らかとなっており、その負担を軽減する狙いがある。支援員となる人に教員免許の有無は問わないが、退職教員などの活用を想定している。

と掲載。

また、『2024年度予算概算主要事項・初中局』は、

——教員業務支援員の全校配置（126億円）、学習指導員などの配置拡充（45億円）／学習プリントの印刷や来客・電話対応などを教員に代わって担う教員業務支援員を23年度比1万5150人増の2万8100人まで増員する。人数ベースでは全国に計約2万8000校ある公立小中学校と義務教育学校の全校に配置できる計算となる。また、児童生徒の学習サポートや進路指導、キャリア教育などに取り組む学習指導員などのスタッフを同2800人増の1万3800人に拡充する——

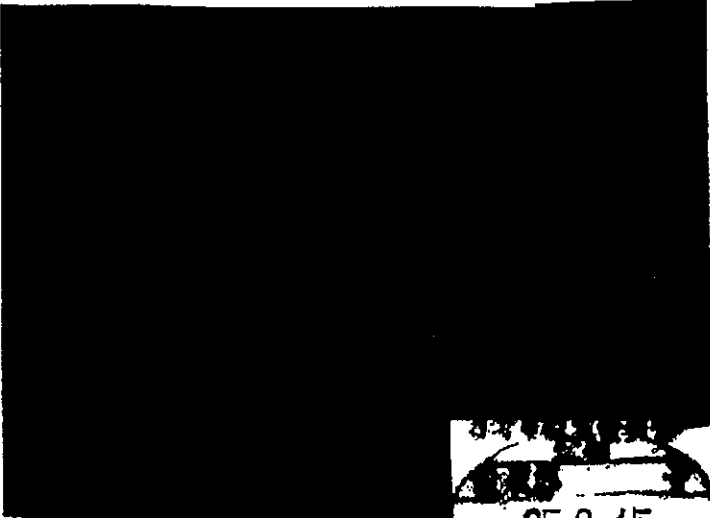
とも、言っている。

後者のうち「学習指導員」は、教員免許を保有している者が一定程度は見込まれ、TTで、サブティーチャー的な役割を果たせば、一般教諭の業務量削減に役立つ面はある。

しかし、「教員業務支援員」は、大多数は教員免許を保有しておらず、今日印刷機がスピードアップしている（そもそも児童生徒の一人一台端末の時代ゆえ、印刷は減っているはず）ことから、一般教諭が業務を依頼することは必ずしも多いとは言えず、校長・副校長・教頭の雑用係として、校長・副校長・教頭の業務量削減に資するのが大部分だ。

もし「支援スタッフの増員」をやるのなら、「副校長・教頭に」ではなく、真に一般教諭の授業負担減となるよう（単なる印刷のお手伝いの教員免許のない人でない）「教員免許を持つ教員の定数増」、特に主幹教諭の増員

1頁



1 今回の請願の背景・根拠

8月28日(月)の文部科学省・中央教育審議会の「質の高い教師の確保特別部会」第3回会合で、部会長の貞広斎子(いつこ)千葉大学教育学部教授が永岡桂子文部科学大臣(当時。69歳)に手渡した、「管理職(校長・副校長・教頭)と教員(主幹教諭・教諭等)の処遇“改善”」等の『提言』は、学校働き方“改革”と称し、上意下達の学校管理を強化する、名ばかり“改革”だ。以下の「2」を踏まえた、文科省宛意見書提出を求める。

『提言』等の大幅修正、改善を求めたい

2 今回の請願事項

1 8月28日の中教審『提言』は、「管理職手当」「主任手当」等の増額を主張している。中3の担任等の「手当」を付けるなら、高校入試のための業務が多いので、少しは理解できる。

しかし「教務主任等の主任手当」は、「管理職への“登竜門”の主幹教諭」はもう既に職として高額な給料表で優遇されているので、「担任以外の主任手当」等の増額は反対。

手当増の処遇改善は主幹教諭でなく、(20代は改善しているが50・60代の)一般教諭の給料増額を。

ではなく、一般教諭の定数増に、予算を組み替えるべきだ。

3 副校長・教頭は、1の「管理職手当増額」と、2の「副校長・教頭マネジメント支援員配置」「教員業務支援員」で、三重の恩恵を被る。これは手厚すぎる。この一般教諭の定数増に貴重な税金は回すべきだ。

4 副校長・教頭については、児童・生徒のためでない、文科省や都教委が上から下ろしてくる不要な業務を減らせば、「管理職手当」の増額も、「副校長・教頭マネジメント支援員配置」「教員業務支援員」も、いらなくなるのではないかと。

5 8月28日の『提言』の別添の11・12頁が、「教員勤務実態調査で、負担感が強い一方、やりがい・重要性は高くない」としている「調査・統計等」(当然、回答する手間は大変)について、「内容・方法の見直し・精選を、これまで以上に進めるべきではないか」と明記している。

ならば、「調査もの」の中で、不必要・有害なのに、文科省や教委が実施してきた、

(1)卒業・入学式等の“君が代”実施率・実施状況”調査

(2)自民党・下村博文(当時は文科相)の『私たちの道徳』の配布・活用調査

(3)自民党・義家弘介の職員会議の議決

(4)藤原誠・東京国立博物館長が文部科学事務次官当時の自民党の池田・赤池と癒着した、名古屋市立中学校での前川喜平さんの授業内容への調査

——等、児童・生徒・教職員の思想・良心の自由を侵す、政治色の濃い「調査もの」は、——教育基本法が禁じている「不当な支配」・介入であった。——

という反省を、『提言』は盛り込むべきだ。

2022年6月16日の定例会でこの点は不審にも不持た

になったが、今回の採択にしてほしい。やられたら

6 前記「5」の『提言』の別添の、27・28頁が言う「学校行事の精選・見直し」の筆頭にあげるべきは、前記「5」の(1)に挙げた、「卒業・入学式等の“君が代”をやめるべきだ。」

(前記別添)

7 前記「5」の通り、「やりがいのない調査もの」という文言は『提言』の別添に入ったけど、「〇〇教育」の押し付けも、問題に

していく。都教委が6年制の強制した五輪教育は学習指導要領で既に国歌と併用と、ウケたかという。

8 『提言』6頁目の「〇 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校のみでは解決が難しい事案について」では、卒業アルバムの写真などで過剰な要求をする、ごく一部のクレームの保護者の問題を針小棒大に煽り立て、問題視しているのは、偏っている。

文科省や教委が、近年、前記「5」の(1)～(4)等、児童・生徒・教職員の思想・良心の自由を侵す、政治色の濃い「不当な支配」・介入(教育基本法が禁じている)をしてきた、という反省を盛り込むべき。

別途メールする、『マスコミ市民』8月号で暴き出した、“君が代”暗記児童数調査の圧力をかけてくる吹田市の保守系議員や教委、また、かつての橋下徹氏が首長当時の大阪での、

——桜宮高校の体罰、中原徹が大阪府教育庁になる前の岸和田市の和泉高校の校長だった時の自衛隊舞鶴駐屯地への生徒動員や卒業式での教職員の口元チェック——

など、政治色の濃い「不当な支配」・介入に対しては、保護者や生徒、地域住民が教委や校長の非違行為や非行をやめさせるよう、(公費で雇った)弁護士資格を持つ人に相談できるように、加筆するべきだ。

即ち、「不当な要求」の主体を保護者に限定せず、「保守系政治家・文科省・教委による君が代・愛国心の強制こそ不当な要求だ」と明記すべきだ。

日野市教委は「国歌国歌法」前の1999年4月の入るから、「君が代」を「伊弉」を断った音楽専科教諭を、都教委とクルミに任せて戒告の懲戒処分にした(憲法第19条～20条の思想・良心・信教の自由に違反)——という

“前記”がある事実を、忘れないで(前記)

都教委の10.23通達(2003年10月)より前に、日野市教委は教員や児童の思想・良心の自由にも、国家権力の脅威を及ぼす恐れを理由に強行していたのであるから、



報告事項第19号

令和5年第3回日野市議会定例会の報告

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

## 令和5年 第3回日野市議会定例会の報告

1. 会 期 9月1日(金)～9月27日(水) 27日間

2. 一般質問 質問者 23名(うち教育委員会関係16名)  
質問件数 46件(うち教育委員会関係18件)  
\*教育委員会関係一般質問等要旨 **別表1**のとおり

3. 議 案 市長提出議案 23件(教育委員会に関するもの 3件)  
議員提出議案 0件(教育委員会に関するもの 0件)

### 《市長提出議案》

(1) 令和4年度日野市一般会計決算の認定について(認定)

(2) 令和5年度日野市一般会計補正予算(第6号)(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
補正総額(歳入歳出)	1,558,418千円	24,444千円
予算総額(歳入歳出)	73,800,728千円	8,196,674千円

※教育費内訳 **別表2**のとおり

(3) 日野市教育委員会委員の任命について(同意)

4. 請願 4件(教育委員会に関するもの 0件)

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
佐藤琢磨議員	一般質問	【日野市財政再建計画と今後の学校施設の在り方について】 ・学校開放有料化とひのスポ！との関係について	教育部参事 (教育指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の有料化については、まだ検討段階であり、現段階で確定していることはなく、「ひのスポ！」への影響も明確にはなっていない状況と認識している。</li> </ul>
奥野りんに議員	一般質問	【医療的ケア児に対する切れ目ない支援】 ・小・中学校に看護師派遣をするなどの体制整備の必要がある。	子ども部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>※教育部の高弁なし</li> <li>※医療的ケアの必要な保育園入園希望者への対応は、個々の状況を確認したうえで対応方法を決定し、受け入れられている。現在の受け入れ児に対しては、訪問看護ステーションに委託して対応している。</li> <li>・ガイドラインの策定については、令和7年度入所に間に合うよう行っていく。</li> </ul>
岡田じゅん子議員	一般質問	【今後の公共施設のあり方について】 社会教育施設や学校教育施設の複合化にあり、一般の方と子どもがお互いの権利を干渉する可能性がある。市はこの影響をどう捉えているのか。	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年10月に実施した教員アンケートでは、複合化について「乳幼児や高齢者などの交流ができる機会が増えることで、共生についての学びが展開しやすい。」「様々な人々が学校を拠点として活動されることにより、様々な方が教育活動に協力していただけるのではないか。」「など、複合化を見習う生徒の学びにとって前向きに捉える意見があった。</li> <li>・一方で、児童生徒のプライバシーや安全防犯上の懸念であったり、教育活動に制限が出るようなことがないようにしたい、といった意見もあった。</li> <li>・これらの意見を踏まえ、児童生徒と地域住民が、動線の交わりや、お互いの活動により生じる音などにより、それぞれの活動に支障が生じるおそれがあることについて、各施設の配置や動線、防音性の確保といった施設計画上の対策を図ることと、お互いに安心して利用できる施設づくりを検討していく必要があると考えている。</li> <li>・併せて、ハード面だけでなく、施設の運用面について、お互いの施設における利用方法や利用時間等のルールづくり、また、活動内容について定例的に情報を共有するなど、先進事例を参考に検討をすすめる必要も考えている。</li> <li>・このような検討をすすめるため施設計画に反映していくことで、複合化による様々な効果が期待でき、お互いの干渉などの課題の解決が図れるものと考えている。</li> <li>・複合化によって学習環境を高機能化することは、児童生徒や地域住民に多様な学習環境を創出するとともに、児童生徒と地域住民などの施設利用者との交流を深めて地域コミュニティの拠点を形成することで、学校運営への支援につながることも期待できる。</li> <li>・また、有事の際の避難所運営においては、円滑な避難行動の促進についても効果が期待される。</li> <li>・教育委員会では、令和5年度から市民参画による「新たな学校づくり・社会教育施設づくり検討委員会」を立ち上げ、8月に第1回目の検討委員会を開催した。学校施設の複合化などについては、「学校教育と地域の双方にメリットのある複合化」を論点に検討していく。</li> </ul>

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和5年第3回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
岡田じゅん子議員	一般質問	【仲田小学校のプール撤去について】 説明会での市民の反応と市の対応について伺う。	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲田小学校屋外環境整備事業に係る説明会は、8月19日に仲田小学校図書室で実施し、保護者や地域の方など14名の出席者があった。</li> <li>・内容は、国による多摩川の堤防整備と併せ、東町土地区画整理事業における仲田小学校周辺エリアを重点整備することとなった背景や、仲田小学校における屋外環境の整備方針、今後のスケジュールなどについて説明をさせていただきました。</li> <li>・仲田小学校における屋外環境の整備内容としては、現状の敷地に合わせ整備されているグラウンドや遊具、体育倉庫、校門、フェンス等を撤去し、区画整理事業により計画されている敷地形状に合わせ、新しく整備するものとなっている。</li> <li>・プールに関しては、新しい道路を築造するため、既設のプールを撤去することとなるが、新しい学校敷地の中には整備せず、東部会館の屋内プールを活用した水泳授業について、令和8年度から実施することを計画している。</li> <li>・プールを整備しないことについて、説明会に出席された地域の方からは、「無くすることには寂しいが、保護者や児童の意見をよく聞き、子どもたちの教育環境を第一に考えて進めてほしい。」とのご意見があった。</li> <li>・市のホームページで8月31日まで募集したご意見では、「校庭が広くなり、見通しが良く防犯面からも良い。」、「屋外での水泳授業は天候に左右され、殆ど出来ないため、東部会館を利用した授業を今からでも実施して欲しい。」、「東部会館を利用する場合は、十分な授業時間の確保や、バスの乗降時における安全面について検討して欲しい。」などのご意見が寄せられた。</li> <li>・新しい学校敷地内にプールを整備しないことに関する反対意見はなかったが、グラウンドの整備や東部会館での水泳授業の運用等に関するご意見について今後取りうる対応を検討し、教育環境の整備に努める。</li> </ul>



要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
岡田じゅん子議員	一般質問	【仲田小学校のプール撤去について】 地域の公共施設でもある学校プールをなくす意思決定として妥当であったのか市の認識を問う	教育部長	<p>令和5年3月に改訂した「日野市公共施設等総合管理計画」では、学校教育施設の管理に関する基本的な考え方として、「学校プールについては、民間施設や他の公共施設等の屋内プールを活用し、維持管理経費の削減を図る」と位置付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部会館の屋内プールについては、コミュニティ施設の新たな目標として、「利用状況等を踏まえながら学校教育による活用を検討する」と位置付けている。</li> <li>・仲田小学校が東部会館の屋内プールを活用して水泳授業を実施する方針は、公共施設等総合管理計画にそった取組の組みである。</li> <li>・仲田小学校以外にも近隣の学校が東部会館のプールを活用することを検討しているが、複数の学校プールの維持管理費や大規模改造にかかる費用を削減することができ、その削減額を活用して東部会館に必要な改修工事等を計画的に実施することで、東部会館の利用者、および、児童にとって、プール施設の環境改善を図ることができる。</li> <li>・プールをなくすことについて、既に民間プール施設を使用しており、学校プールを使用しなくなっただ小学校6校については、周辺の地域で火災が発生した場合の消防水利用としての使用を目的とし、常時、貯水した状態を維持しているが、設備の保守点検や修繕などは実施しておらず、プールとしては使用できない状態となっている。</li> <li>・未使用となった学校プールの解体と敷地の有効活用については、今後、校舎などの大規模改修工事等の際に、防火水槽などの整備と併せ、各校個別に検討していくことを基本に考えている。</li> <li>・学校プールの地域開放については、安全管理や運営主体、施設面等の様々な課題があり、また、利用実績が少ない状況が把握されたため、平成24年に中止の判断をしている。</li> <li>・これらの課題に加え、近年では、猛暑等による環境面の課題も加わっていることから、現時点で学校プールの地域開放を再開する予定はない。</li> <li>・東部会館の屋内プールの活用は、令和3年度から開始している民間屋内プールの利用による学校プールの改革と同様に、天候に左右されず計画的に水泳授業の実施が可能であり、水泳専門のインストラクターによる指導補助など教育指導面における効果や、安全管理や水質管理などの教職員の負担軽減効果が見込まれます。費用の試算なども行った結果、有効と判断している。</li> </ul>
岡田じゅん子議員	一般質問	【仲田小学校のプール撤去について】 まだ1回しか説明会をしていないが、時間をかけて子どもや保護者、先生方とも双方の意見交換をするべきでは、 区画整理を理由にして、学校の施設をなくされてしまうことについて抵抗を感じている人もいます。	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールの撤去については、土地区画整理事業の関係でプールの敷地の場所に道路を築造するという事情がある。</li> <li>・区画整理事業は国の堤防の嵩上げと一体的に整備を行うもので、この地域の安全安心のまちづくりを進めるためのものと理解している。</li> <li>・そうした前提があり、プールを撤去しなければいけない中で、その後のような方針が望ましいのかを検討する中で、今回は学校の敷地の中に再建するのではなく、公共施設である東部会館のプールを活用することが最も望ましい方針であると考えている。</li> <li>・市としての全体的な方針はあるが、個別の地域の学校の事情に応じた対応が必要と考えている。</li> <li>・説明会だけでなくホームページにおいて、整備方針の資料なども掲載して市民の皆様のご意見をいただいている。</li> <li>・屋内プールの効果としては、既に6校が民間プールでの授業を実施しておりありますが、非常に高い評価を得ているため、よりよい運用ができるように意見を聞きながら進めていく。</li> </ul>

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
伊藤あゆみ議員	一般質問	【医療的ケア児の将来の見通しができるよう に人生設計の一気通貫支援プランの作成 について】 ・「かしの木シート」を用いて、エールの 相談員と医療的ケア児コンディネーターと 共に計画的な支援プランを作成しデータ化 することはできないか。	子ども部長	※教育部の答弁なし ・かしの木シートはシステム上で管理・運用している。作成したケア児への支援プランを かしの木シートの添付資料として引き継ぐことは可能だが、「かしの木シート」を用いて支 援プランを作成することは、運用面も含め、今後、課題の整理が必要。
伊藤あゆみ議員	一般質問	【手話言語の国際予〜手話を広めるには 〜】 ・学校教育において手話を広げるには	教育部参事 (教育指導担 当)	・小・中学校の総合的な学習の時間で福祉をテーマに学習を行った際、手話体験を行う事例 がある。ある小学校では、障害のある方を学校にお招きし、日野市の手話サークルの方から 手話を教わっている。ある中学校では、車いす体験、白杖体験、手話体験を実施し、手話体 験の際には、日野市の手話サークルの方が指導していただいている。 ・児童・生徒からは、「障害のある方の日常を体験し気持ちを想像できた」、「障害のある 方にとって優しい社会を実現したい」という声があがっている。 ・今後関係機関と連携しながら学習を進めていく。
奥住匡人議員	一般質問	【学校図書館の全校配置で子どもたちの学 びを豊かに！】 ・モデル校での実績と成果は ・残りの22校は今後どうするのか ・先駆的な取組を参考にしたり日野市の対応 は	教育部参事 (教育指導担 当)	・研究奨励校3校は「学校図書館を活用した授業の創造」を共通課題として研究に取り組み ている。令和4年度は、学校図書館の配架の工夫、学校図書館司書と教員が連携した授業づ くりの在り方の検討、学校図書館を活用した研究授業を実施した。令和5年度は、大学教授 等を講師に招き、研究授業を行い、令和6年1月に最終研究発表を予定している。 ・令和4年度の研究成果をリーフレットにまとめ、日野市立小・中学校全体での意識が高まってきて いる。学校図書館を活用した授業づくりについて、日野市立小・中学校から「図書からの学びを次に生 かしてみたい」という意欲を引き出した点等が、成果としてあげられる。 ・全校配置に向けては約25人及び学校図書館司書人確保の課題があると認識している。 学校図書館司書の資質・能力の向上を含めたマネジメントの課題もある。上記2点に対し、 学校図書館司書1名が複数校を担うことで、人員確保並びに少人数による統制や情報伝達の 速さを活かして取組ことができるのではないかと考えている。 ・先進地区では、地域の公共図書館と学校図書館との連携を実施していた点、学校図書館の 配置について、生徒が日常通る場所に配置していた点、蔵書が新しくなった点等が特徴的で あった。これらの知見も生かし、学校図書館司書と司書教諭等の図書館担当教員が協力した 授業づくりや選書の取り組みを進めていくことが重要になると捉えている。 ・学校図書館司書の配置拡大を検討するにあたっては、児童・生徒が、問い、疑問に思った ことを、自らの方法で答えるにたどり着く、子供たちの探究的な学びの一層の推進に生かせる 形を目指していきたい。 ・教育委員会では、学校図書館司書を単に配置するだけではなく、学校図書館司書をマネジ メントし、学校図書館を活用して子供たちの学びの充実につなげるための仕組みの創設など も含め、総合的に検討していきたいと考えている。 ・財政的な支出も必要となるため、市長部局とも相談をしながら、学校図書館を活用した学 びの一層の充実につなげられるよう、準備を進めていきたい。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
<p>奥住匡人議員</p>	<p>一般質問</p>	<p>【さらなる学校での地域参加と環境整備を！】 ・ひのスポ！による部活動の地域移行の進捗状況について現状と課題について</p>	<p>教育部参事 (教育指導担当)</p>	<p>・教育委員会では令和3年度、4年度にスポーツ庁・東京都から受託した地域運動部活動実証事業により、部活動の地域移行を進めてきた。東京都から受託した包括補助事業を活用し、学校体育施設等を拠点としたスポーツを楽しく子ども・子育て支援事業、略称「ひのスポ！」の取組を進めている。令和5年度は、6月から卓球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトテニスの4種目を順次実施している。3か月間の短期ではあるが、多くの子供たちがスポーツを楽しみ、汗を流した。10月からは、陸上競技、ハレーボールなどを追加した、全6種目のスポーツについて募集を行う予定である。また、「ひのスポ！」の文化活動版である「ひのカル！」の第一弾として、日本の伝統文化の一つである「けん玉」を実施する予定である。 ・「ひのスポ！」や「ひのカル！」を今後、持続的な事業にしていきたいためには、指導者の確保は課題の一つである。多くの中学校の生徒に、地域における文化・スポーツの体験機会を確保するには、協力いただいている企業・大学、体育協会他、文化スポーツ団体だけでは指導者の数が十分ではないと考えている。令和5年度は、以前から地域に根差し、指導をしていた日野市ソフトテニス連盟の協力を得ることができた。地域の指導者や指導団体を活用すること、子供たちの誰もが、文化・スポーツの体験機会を得られるように努めていく。</p>
<p>新井ともはる議員</p>	<p>一般質問</p>	<p>【自動で文章やアイデアを生み出す生成AI「チャットGPT」活用による、市民生活向上へ！】 ・学校現場における生成AIの活用や教員が持つべき視点についてどう考えているのか ・第4次学校教育基本構想に「生成AIの活用」を位置付けることは可能か</p>	<p>教育部参事 (教育指導担当)</p>	<p>・令和5年6月、日野市教育委員会事務局は、東京都教育委員会の通知を基に、市立小中学校の全校に向け、「これからの時代を生き延びる子どもたちには、生成AIの特性を理解するとともに、こうした新しい技術によってもたらされる情報の真偽を見極めるなど、リテラシーが求められる」と、「全ての教職員が生成AIについて知ること」等を周知した。7月、文部科学省は「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を策定した。ガイドラインには、「各学校で生成AIを利用する際のチェックリスト」が記載されており、「年齢制限・保護者同意を遵守すること」等の注意点が盛り込まれている。 ・教育委員会事務局は、各学校に対し、「ガイドラインにあるチェックリスト等を参考にし、教職員が生成AIについての知識を深めるよう」、依頼した。8月には各学校の管理職を対象とした、体験型の生成AIに関する研修会を実施し、「教職員がまずは生成AIについて正しい知識をもつこと」「児童・生徒が学校外の場で、すでに生成AIを活用している可能性があることに十分留意すること」を改めて周知した。 ・今後は、文部科学省のガイドラインや他自治体の事例を参考に、学校現場での活用に向けた考え方や留意事項等についての整理を行うことも含め、各学校で業務改善をねらいとした生成AIの活用ができれば、調査、研究を進めていく。 ・現在策定中の第4次日野市学校教育基本構想は、内容等について協議を重ねているところである。構想への位置付け如何に関わらず、生成AIを含めた情報技術を児童・生徒が主体的に考え、活用ができるよう、引き続き情報活用能力の育成を図っていく。</p>

令和5年第3回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
窪田知子議員	一般質問	【子どものスポーツ・文化活動の支援について】 就学援助制度による生活困窮世帯へのクラブ活動費支援について市の見解を伺う。	教育部長	<p>就学援助制度とは、経済的な理由により学校への支払いが困難な家庭に対して、学校で必要とする費用の一部を援助する仕組み。</p> <p>・国の要保護児童生徒援助費補助金においては、クラブ活動費を補助対象経費として位置付けているが、国庫補助の対象となるのは要保護児童生徒に対する就学援助費のみで、全体の約93%を占める。要保護児童生徒に対する援助は対象となっていない。</p> <p>・日野市においてはクラブ活動費を就学援助費の対象としておりませんが、令和4年2月に26市を対象に実施された調査では、クラブ活動費を対象としている市はない。</p> <p>・クラブ活動費は対象にしていないが、認定の対象者の範囲が広いこと、中学校への入学準備金という日野市独自の支給項目があること、新入学学用品費が手厚いことなどが日野市の就学援助の特徴となっている。</p> <p>・学校の部活動に対しては、部活動奨励補助金や児童生徒が大会に参加するための参加費・交通費・宿泊費などを負担する児童派遣費補助金など多様な支援をしている。</p> <p>・クラブ活動費について、補助対象経費として就学援助費に含めるかどうかにつきましては、近隣自治体の動向や財政状況を踏まえて、引き続き調査研究していく。</p>
窪田知子議員	一般質問	【子どものスポーツ・文化活動の支援について】 ・ひのスポ！の現状と保護者への説明・周知について	教育部参事 (教育指導担当)	<p>・教育委員会では令和4年度から、「ひのスポ！」の取組を進めている。令和5年度は、6月から卓球、女子バスケットボール、ソフトテニス、男子バスケットボールの4種目を順次実施している。10月からは、陸上競技、女子バレーボールなどを追加した、全6種目のスポーツについて募集を行う予定である。「ひのスポ！」の文化活動版である「ひのカル！」の第一弾として、日本の伝統文化の一つである「けん玉」を実施する予定である。</p> <p>・参加費は、これまで無料で行ってきたが、10月以降実施のプログラムから、保険料のみいただく。生活困窮家庭については、これまでとあり、無料で参加できるようにしていく。</p> <p>・子供たちの参加を募るにあたって、保護者には連絡手段として活用している情報発信ツールで募集チラシを配布している。このチラシには「ひのスポ！」の趣旨について説明した動画のQRコードが記載され、その動画を閲覧することで、本事業への理解を深めていただく仕組みとなっている。</p> <p>・「ひのスポ！」に参加した子供たちからは、「いろいろな学校の人たちと一緒に練習できよかったです」「専門的な指導を受けられるのは貴重なことだと思いました」「ひのスポ！で言われたアドバイスをもとに練習しています」などの声があがっている。今後も「ひのスポ！」「ひのカル！」の充実を図り、子供たちが文化・スポーツ活動に親しみ、体験できる機会を確保したいと考えている。</p>

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
森沢美和子議員	一般質問	<p>【バックキャストで考えた日野市の未来を問う】</p> <p>（1）若者男女、障害のあるなしにかかわらず、自分が持っている力を最大限発揮できる社会としていくために、市、教育委員会として取り組んでいることを、世代ごとに最も重視していることを1つ挙げる。</p> <p>①就学児の支援、②小学生の支援、③中学生の支援</p> <p>（2）それぞれの世代について、未来のあたるべき姿をどのように描いているか。</p>	教育部長	<p>（1）「リソースルーム」事業を説明。日野市独自の事業で、小学校は平成23年に全校実施、中学校は平成30年に全校実施となり、「学習の保健室」として定着している。</p> <p>（2）第6次日野市特別支援教育推進計画の基本理念である「幼児・児童・生徒一人一人の能力を最大限に伸ばすために、学校・家庭・地域及び関係機関と一層密接な連携のもとに、幼児期から学校卒業後までを見通した多様な特別支援教育を展開し、社会的自立を図ることで生きる力や地域の一員として生きていける力を培い、共生社会の実現に寄与」の実現に向け、計画を着実に推進していくことが重要。教育行政や学校関係者だけでなく、児童・生徒及び保護者の皆様の理解と協力を得ながら、計画の推進に取り組む。</p>
森沢美和子議員	一般質問	<p>【バックキャストで考えた日野市の未来を問う】</p> <p>・高年齢になるにつれ、発達に課題を持つ子どもとの割合が減っている。日野市の傾向と理由を日野市が進んで発達支援を行ってきた実績から考えられること</p>	教育部長	<p>・令和4年12月の文部科学省が発表した「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の調査結果では、発達面又は行動面で著しい困難を示す子どもの割合が高年齢になるにつれ減っている傾向。</p> <p>・日野市の傾向を図る物差しとして「ステップ教室」の入塾率がある。小学校6.1%、中学校2.9%で、3.2%の開きがある。日野市も国と同様の傾向である。</p> <p>・要因：「ひのスタンダード」（授業のユニバーサルデザイン化）の実践と本人の成長、「ステップ教室」での指導、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置、エールでの相談、指導、トレーニングなど</p> <p>・形を変えて続く指導・支援により、課題であったことを克服したり、自分にあった課題への対処方法を見つけていて、場面によっては目立たなくなると考えられる。</p>
田原 茂議員	一般質問	<p>【医療的ケア児等に対する切れ目のない支援】</p> <p>・小中学校での医療的ケア児のガイドラインの作成について</p> <p>※進捗状況と今後の流れ、作成時期について</p> <p>&lt;要望事項&gt;</p> <p>・協議委員会に当事者を入れる</p>	教育部長	<p>・「日野市教育委員会医療的ケア運営協議会」を設置令和5年8月25日に第1回目の会議を実施。</p> <p>・委員は、医師、南多摩保健所、在宅介護サービス等の会社の代表、都立八王子東特別支援学校長、市立小・中学校長及び養護教諭部会代表、市関係部署職員の15名で構成。</p> <p>・第1回は事務局がガイドライン（案）を示し、意見を聴取した。</p> <p>・今後は、ガイドライン（案）について、修正及び各委員の確認をすすめる、第2回目会議を経て策定、令和5年度未だに、学校をはじめ市民に広く周知する予定。</p>

要点を記載しています。詳細は市議会HIPをご確認ください。

令和5年第3回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
池田としえ議員	一般質問	【毎年100人ずつ増えている不登校児童・生徒への対応を急げ!!】 ・小中学校での不登校児童生徒の数はその対策は効果を発揮していない数字ではないのか ・フリースクール・不登校児童への具体的な対策について ・フリースクールと不登校児童を繋ぐ役割について	教育部参事 (教育指導担当)	令和5年度においても日野市立学校全体の不登校児童・生徒数は増加傾向にある。 ・令和3年度、市内の中学校1校で行っていた登校支援教室を、令和4年度は市内の中学校5校で開設した。令和5年度には、日野市立中学校2校において、不登校加配教員を1名ずつ配置し、日野市立小学校1校、中学校6校に、登校支援員等を派遣するようにした。令和5年8月の時点で、日野市立小学校1校、中学校7校で登校支援員等を活用した別室における登校支援教室を開室した。これにより、不登校児童・生徒が学校に登校する機会が増えたという事例もある。 ・登校支援教室を開設していない学校においても、児童・生徒の登校のタイミングに合わせて担任等と面談をしたり、オンラインで授業を配信したりする等、登校することが難しい児童・生徒への教育機会の充実を図っている。今後も登校支援教室等、不登校児童・生徒への対策については、日野市教育委員会事務局と学校が連携を図りながら進めいく。 ・教育委員会事務局では、生活指導主任研修会やフリースクール等についての理解を深める機会や、事務局職員がフリースクール等を視察し、フリースクールの職員から児童・生徒の学びの様子を聞いたりする機会を設け、フリースクールを訪問したり、施設を見学を実施している。 ・教育委員会事務局は、フリースクールは、学校に登校できない児童・生徒の居場所や学習ができて居る場所として、有効であると考えている。フリースクールの役割を効果的なものにするためにも、フリースクールに関する情報を適切に学校や保護者に伝えられるよう、周知方法について検討している。
牽岸弘行議員	一般質問	【チャットGPTの活用と行政DXの推進について】 ・子供の自殺防止のためにAIツールの活用をすべさと思うが	教育部参事 (教育指導担当)	・教育委員会事務局では、これまで、各学校が、1人1台の学習者用端末を学習だけでなく、生活指導やその他場面に活用してきており、創意工夫をしながら活用してきている。 ・学習者用端末を活用し、自殺防止を含めた児童・生徒の支援において、有用性があると考えている。今後、他自治体の事例を参考にしながら、SNS相談等の更なる活用やAIツールの導入及び対象とする学年の検討等、研究を進めていく。
須崎貴寛議員	一般質問	【関東大震災から100年の節目に問う～フェースフリーで考える防災と自然体験の機会～】 ・子どもたちへの防災教育について ・フェースフリーの取り組みについて	教育部参事 (教育指導担当)	・市立小・中学校の防災教育は、各学校が作成する学校安全計画の年間指導計画に基づき計画的に指導を実施している。年間計画を作成する際には、学習指導要領に基づき各教科等で防災教育を含めた安全に関する指導事項を確認し、自助・共助・公助の視点を取り入れながら地域の実態及び児童生徒の発達段階を考慮し、指導を行っている。 ・各教科等で学んだことを生かしながら、実際に避難訓練などを行い、災害に対してどのような身を守るのか、学習している。あわせて、東京都教育委員会は防災教育デジタル教材「関東大震災復興100年教材」や「防災ノート～災害と安全～」を都内の全ての学校に周知し、学校現場での活用促進を図っており、市立小中学校においても児童生徒用の学習者用端末のブックマークにリンクを貼り、防災教育を推進している。 ・フェースフリーの防災教育の考え方は、市立小・中学校で行っている防災教育とも共通の考え方であること認識している。教科等横断的な視点で学習を進めることを通して、各教科等で学んだ知識や技能などの資質・能力が、実生活や災害時に活用可能なものになっていくと考える。教育委員会では、他市の実践を参考にしながら、これからの子どもたちが、自分の命は自分で守ることができ、助けられる人から助ける人へと成長することができるよう、学校を支援していく。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
白井なおこ委員	一般会計 決算特別 委員会	【小中学校のごみ収集業務委託について】 小中学校の委託は一括で契約しているか。 業者選定の方法は、 厨芥ごみの搬入先は市が指定しているか。 現在は大田区の工場に搬入していると思 うが、近隣の工場に搬入したほうがCO2 削減につながる、子どもの環境教育上もよ いのでは。 近隣の工場への搬入についても調査検討 してほしい。	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校のごみ収集業務委託は一括で契約をしている。</li> <li>契約先は指名競争入札で決定しており、競争の結果最も低い価格で入札した業者と契約している。</li> <li>収集した厨芥ごみの搬入先については指定しておらず「再生利用をするために適正な設備を備えたリサイクル処理施設へ搬入すること」としている。</li> <li>大田区の工場は、食品廃棄物を分解してバイオガスを回収することで、エネルギー資源として再生している。過去に他の工場へ搬入していた際、堆肥化に伴う臭気問題で客入が停止されたことがあり、現在はより安定的な受け入れが見込める大田区の工場へ搬入をしており、その選択は現時点では市としても妥当なものと考えている。</li> <li>他の工場への搬入の可能性を否定するものではないので、市や受託者が今後他施設について調査検討する中で、より妥当な搬入先があった場合は変更する可能性もあると考えている。</li> </ul>
白井なおこ委員	一般会計 決算特別 委員会	【理科教育等教材用備品について】 どんなものを購入したか。 理科の備品が壊れているが買い換えられないという声を聞く。学校から備品購入の要望があった場合の対応は、 トイシやエアコンなどの設備だけでなく、教育用備品の購入にも力を入れてほしい。	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科教育の振興を図る目的で国から補助金が交付される制度があり、理科教育等教材用備品の予算で購入したのはこの補助金の対象となった備品である。</li> <li>令和4年度は小学校3校、中学校3校で、赤外線サーモグラフィ、電子天秤、顕微鏡などを購入している。</li> <li>学校で使用する備品の予算は、庶務課予算として計上後各学校に配当し、各学校が優先順位をつけて備品を購入することとなっているが、予算の一部は学校に配当せず庶務課で取り置いている。各学校からの要望のうち配当予算での執行が難しいものを購入するために使用している。</li> <li>毎年7月ごろに学校に対し備品購入要望調査を実施し、現地確認などの結果、必要度や緊急度の高さ、各学校の公平性を鑑み、当年度予算で購入できるものは購入している。</li> <li>当年度予算での対応が困難なもので、必要度の高いものについては、次年度予算に計上できるよう調整する。</li> </ul>

令和5年第3回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
白井なお子委員	一般会計 決算特別 委員会	【工一ールの心理相談について】 ・心理相談の現状 ・今後の対策 ＜要望事項＞ ・初回相談の待機期間を1か月程度にしてほしい。	発達・教育 支援課長	・心理相談の新規相談を受けるまでの期間は、令和4年度は1か月半～3か月、今年度は、現在は3か月待ち。 ・待機期間を減らすために、①新規相談者の確保②継続相談は就学・進学のみで一旦終了。ただし、不安が強い等の場合はフォローあり。③学校のSC相談を始める④心理士でカンファレンスを実施し、方針検討をみんなで行うなどの対応をしている。 ・今後様々な方法を検討し、待機時間の削減に努める。
白井なお子委員	一般会計 決算特別 委員会	【幼児教育の在り方】 ・在り方検討委員会の基調講演など、充実した内容だと評価している。一方で、教育委員会の主要な取り組みの中で、市立幼稚園のあり方に対する位置づけがこれまでより薄まっている。 ・五幼跡地は未活用のままであり、壊すこととの必要性があったのか、公共施設の閉じ方の際には、時間をかけて進めるように。	教育部長 学務課長	・幼児教育・保育の在り方検討委員会は令和4年度中1回開催。全6回を予定しており、4回まで終了。 ・幼児教育・保育の質の向上は市全体で取り組むものとして考えており、市立幼稚園をはじめとした日野市らしい幼児教育のあり方もセットで考えるべき内容と捉えている。
奥野りん子委員	一般会計 決算特別 委員会	【図書購入費について】 ・地方交付税における学校図書購入費に對し、実際の図書購入費はいくらか。 ・国の調査では、学校図書館充実のため220億円の地方交付税交付金を措置したにも関わらず、図書購入に使われたのは6割以下であったことが分かってきているが、そのことについてどう考えるか。 ・どんなにICT化が進んでも、インターネットの情報には正確性に欠くものもあり、教育の基本は紙の図書であると考え	庶務課長	・地方交付税における学校図書購入費に對する実際の図書購入費については数字を持ち合わせていないので確認する。 ・学校図書の充実には必要と認識している。 令和4年度の図書備品費決算額は、小中学校合わせておよそ1,521万円、購入冊数は8,431冊。 ・日野市の小中学校1校当たりの図書購入額は、平成27年度時点で小学校が多摩地域平均の58%、中学校では平均の50%という低い水準となっていたが、その後予算の増額を続け、令和4年度予算では、小中学校とも多摩地域の平均値に近いところで予算額を増額した。 ・電子化が進んでも紙の図書の存在は重要と考えている。必要な予算を確保し、計画的に蔵書の更新ができるよう検討していく。
奥野りん子委員	一般会計 決算特別 委員会	・わかば教室の通室生の人数及び在籍校について ・フリースクールに通う不登校児童・生徒の人数について ・登校支援を拡大するべきである。校内にフリースクールを設置している事例がある。	教育部長 教育部参事 (指導担当) 教育センター 事務長	・令和4年度のわかば教室通室生の人数は、97人（小学生35人、中学生62人）である。小学生は17校中15校から通室しており、中学生は全校から通室している。 ・令和4年度に東京都のフリースクール調査研究事業に応募したのは16人である。



要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
奥野のん子委員	一般会計 決算特別 委員会	<p>【教育センター経費・不登校対策】                      ・教育センターに通う不登校者数（1校当たり）                      ・フリースクールに通う人数</p>	教育センター事務長・ 教育部参事 （教育指導担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度わかば教室通室者（小中合わせて97名、小35名、中62名）</li> <li>・市教育委員会では、正確な数字を把握していないが、東京都教育委員会が実施している調査・研究事業に参加している人数は把握をしており、令和4年度は、16名が参加した。</li> </ul>
奥住匡人委員	一般会計 決算特別 委員会	<p>【新たな学校づくり・社会教育施設づくり 推進事業について】                      ・事業内容、基礎調査の内容、今後の展開は、                      ・調査の結果どんな課題があがり、どのように対応していく予定か。</p>	庶務課長	<p>・「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進事業」は、GIGAスクール構想や少人数学習への移行などを背景に、新しい時代の教育内容に対応した空間デザインを検討する必要性が高まっていること、また、地域の実情に応じた行政ニーズへ対応するには、地域から期待される公共施設としての機能や役割の検討が必要と考えられることなどを踏まえ、学校周辺の公共施設との共用化や複合化などの考え方も視野に入れて、新しい時代に求められる学校施設のあり方方を検討するものである。</p> <p>・令和4年度では、学校施設に関する基礎調査を行い、この結果を踏まえ令和6年度未までに市民参画により「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」を策定の上、今後の学校施設の整備方針として位置づけていく予定。</p> <p>・「推進計画」の策定に先立ち、令和4年度に基礎調査を実施した。この調査では、市内の学校施設における現状や課題、求められる機能や役割などを整理・分析するため、市内小中学校に在籍する教員へのアンケート調査や、学区単位の将来人口推計、学校施設におけるリアプリー調査、通学区域内の分析などを実施し、調査結果をもとに洗い出した課題等については、基礎調査報告書としてまとめた。</p> <p>・基礎調査の結果を踏まえ、今後検討すべき論点として「これからの時代の学校に必要な機能や語室」</p> <p>・学校と地域をつなぐ現実的かつ効果的な複合化・共用化」「避難所としての学校施設」などを掲げ、令和5年度に立ち上げた市民参画による検討委員会において、協議や意見交換を行っていく。</p> <p>・検討委員会や庁内ワーキンググループなどの検討をもとに、求められる機能をデザイン化し、今後の学校施設の整備方針としての「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」を令和6年度未までに策定する予定。</p> <p>・調査の結果、普通教室の広さ、教育の多様性を引き出すオープンスペースや多目的スペースの確保、特別支援教室の必要な諸機能や面積、児童生徒のプライバシーを守る取網、クニルダウンスペースの確保、特別教室の機能に合わせた設置などが上がった。</p>

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
奥住匡人委員	一般会計 決算特別 委員会	【中学校の修繕費について】 ・学校施設の修繕の考え方は、 ・七生中で雨漏りがひどいとの声を聞く が、そのような声は聞いているか。	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の修繕については、「学校施設の長寿命化及び建築等の整備に関する中長期計画」に基づく大規模な改修や、屋上防水、学級増に伴う普通教室の整備、トイレ改修などを計画的に実施するための予算のほか、日常の学校運営における施設や機器の不具合、法定点検の結果に基づく機器の更新、雨漏り等の修繕に対応するための予算を計上している。</li> <li>・中学校における計画以外の修繕については、令和4年度当初予算として2500万円を計上していたが、年度の途中で不足が発生し、515万6000円を補正予算として計上した。</li> <li>・決算書P.409に記載されている学校施設管理経費の修繕料3230万7986円には、施設以外の物品の修繕料、約220万円が含まれている。</li> <li>・学校から寄せられた修繕の要望に対し、全ての要望に希望通りのタイミングで対応できてはいないのが現状であるが、予算の範囲内で優先順位をつけて対応している。</li> <li>・修繕を実施する際は、児童・生徒の安全に関わるもの、法定点検で不備が指摘されたもの、雨漏りなどで例えば教室など日常的な教育活動に大きく影響するものなどを優先的に実施している。</li> <li>・市内の多くの学校で建物の老朽化により雨漏りが生じている状況を踏まえ、令和4年度から計画的な屋上防水の修繕に着手している。</li> <li>・令和4年度は潤徳小学校で実施し、令和5年度は、日野第三小学校、日野第一小学校、日野第四中学校、三沢中学校の4校分の予算を計上し、順次進めている。</li> <li>・今後も引き続き、計画的に屋上防水の修繕を実施していく。</li> </ul>
奥住匡人委員	一般会計 決算特別 委員会	【特色ある学校づくり支援経費】 ・決算概要 ・今後の見通し	統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルージョンに関する実践的研究事業は日野第三中学校・七生緑小学校・夢が丘小学校・都立七生特別支援学校及びわかば教室の見重・生徒が、オンラインによる交流及び共同学習を実施した。今後は研究で得られた成果を各校に広げていく。</li> <li>・文化プログラム・学校連携事業には、2校が採択された。南平小学校では、茶道体験や短歌教室のほか、地域の皆様の支援による福作体験などを通して、地域や日本の伝統文化に対する学びを深める活動を実施した。日野第四中学校では、ダンス講師による、様々な国の音楽に合わせて体を動かすダンスは言語を超えてあらゆる人との交流が可能であることを体験的に理解し、生徒に共生社会の一員としての意識を高めることを目標に実施した。</li> </ul>
わたなべ三枝委員	一般会計 決算特別 委員会	【小学校体育館のエアコンについて】 ・この夏の酷暑を踏まえ、少して早くエアコンの設置が必要と考えるが、複数年をかけて設置していく方針に変わりはなくか。	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から令和7年度にかけて設置工事をしていく計画に変わりはしない。</li> <li>・複数年かけて進めることには、隣り合う学校で同時に工事をしないことで工事中の利用制限に対する代替利用や、災害時の避難所確保ができるというメリットがあると考えている。</li> <li>・また、令和5年度で終了する都の補助金があるうちに一気に設置しては、という質問を過去にいただいたことだが、補助金がなくなる一方で、国庫補助金の補助率や対象範囲が拡充され、結果的に市の負担は削減されている。</li> <li>・市では小中学校のトイレ改修や豊田小の大規模改修事業など、大規模な工事を計画していることから、財政負担の平準化を図りながら、国・都補助金の動向を踏まえ、計画的に小学校体育館のエアコン整備を進めていく。</li> </ul>

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
わたなべ三枝委員	一般会計 決算特別 委員会	【小学校体育館のエアコンについて】 ・猛暑の日には体育の授業での運動を取りやめるなどの工夫をしていることは理解したが、それでもやはり少しでも早くエアコンを設置してほしいと思うがいかがか。	教育部長	・エアコン未設置の学校の体育館では、大型扇風機や冷風機などを活用し、暑さを和らげる対策をしている。 ・大規模な工事を計画している中で、平準化の考え方は必要となるので、ご理解いただきたい。
わたなべ三枝委員	一般会計 決算特別 委員会	【特色ある学校づくり推進事業経費・研究奨励事業補助金】 ・令和3年度から実施している学校司書の活用についての研究の成果 ・研究により見えてきた課題 ・週30時間勤務の課題解決	教育指導課主幹	・学校図書館を活用した授業の創造として、学校司書を配置している3校で連携し、令和3年度から研究を続けている。 ・令和4年度は研究成果のリーフレットを作成、全小中学校で共有している。令和5年度は、令和6年1月に最終研究発表を行う予定である。 ・週30時間勤務の課題に対しては、配置校に確認を行ったところ、1日の勤務時間である6時間を学校状況に順じて開始時間・終了時間をずらしたりして、教員と相談する時間を確保するよう工夫している。また、連絡カードを活用して、教員との相談時間を確保するような取組がある。 ・学校図書館司書を配置している区部においても1日あたり6時間勤務の地区が多くみられる。限られたリソースの中で、誰のための学校司書であるかという点について、財政面から市長部局と調整していきたい。
伊藤あゆみ委員	一般会計 決算特別 委員会	【芸術文化創造性育成経費・音楽鑑賞教室業務委託料】 ・決算概要 ・演目、生徒の感想 ・今後の見込み	統括指導主事	・中学校の音楽鑑賞教室実施に係る業務委託 ・令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止。令和4年度には、令和3年度に実施できなかった学年を含め、2、3学年で実施。 ・移動時の安全面での課題はあったが、コロナ禍の中で、行事を体験させることができた。
伊藤あゆみ委員	一般会計 決算特別 委員会	【より魅力ある学校にするプロジェクト経費・体験型英語学習施設利用料】 ・事業概要 ・生徒の感想	統括指導主事	・令和4年度末に開校した体験型英語学習施設に、モデル事業として2校中学1年生が参加した。体験した生徒は、施設内で外国人の英語に触れられる等、効果的な学習であった声があった。 ・これらを受け、令和5年度は、中学校全校に体験型学習機会を設定し、第1学年に学習機会を設けている。

令和5年第3回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
中野あきと委員	一般会計 決算特別 委員会	【スクールソーシャルワーカーについて】 ・配置状況 ・支援に入る流れ ・今後の配置について ＜要望事項＞ ・不登校児童・生徒等への対応など、重要な役割を担う職種。正規職員の配置を求める。	発達・教育 支援課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置状況：令和5年9月現在、正規職員2名、会計年度任用職員3名</li> <li>・対応までの流れ：学校からの依頼により派遣する。基本は担当校制。学校より詳細な状況を聞き取り、学校との連携と児童・生徒本人やその保護者との関係づくりから始める。両者の間に入り、学校との連携と児童・生徒とその保護者への支援を行う。</li> <li>・(仮)子ども包括支援センター「みらいく」の開設に合わせ、1中学校区に1人を配置するため、職員課と協議をしている。</li> </ul>
中野あきと委員	一般会計 決算特別 委員会	【学校における働き方改革推進事業経費】 ・働き方改革プランが策定されて5年目となる。進捗状況を教えて欲しい。週60時間に対しどうであったのか。 ・在宅業務ができてきたことになったことにより、問題が埋没化している。現状を把握しているか。 ・自治体では教員のサポート人員を配置するなど、やるべきことがあると思う。現状を教えてください ・令和4年度の休職者、中途退職者、産休・育休者の人数	教育指導課主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度と令和4年度時間外実績を比較した数字では、時間外45時間超、時間外80時間超、時間外100時間超、合計で延べ人数で1,586名の軽減という傾向が出ている。</li> <li>・働き方推進プランの指針である「在職時間週60時間」の数値目標でも検証を続ける。</li> <li>・管理職が教員の勤務状況は、出勤管理システム等で把握し、時間外を削減させるよう指導を行っている。</li> <li>・教員の時間外勤務削減や事務量削減のため、人員を配置している。配置には、スクールサポートスタッフ、副校長補佐等をサポート人員を増加させている。</li> <li>・令和4年度の休職者は11名、中途退職は3名、産休・育休者は46名。教員の人員補強については、継続して東京都教育委員会へ働きかけていく。</li> </ul>
中野あきと委員	一般会計 決算特別 委員会	【この状況に合わせた不登校支援経費】 ・教員の確保が誰が行うのか ・不登校が増えている要因 ・現在の不登校支援であるSSWとの連携の状況	統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の確保は、東京都教育委員会へ申し、引き続き補充を要求していく。</li> <li>・不登校要因の統計的な数値としては、教員のアンケータ結果から親子の不登校、無気力・不安等の理由が上位にあげられる。各要因が絡み合うのが特徴で、不登校児童生徒数それぞれ個々の要因があると推察している。その要因背景を明らかにするには、児童生徒の個別指導とかなりの時間を要し、問題究明の要因を全てを示すことが難しい状況。</li> </ul>

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表 1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
馬場賢司委員	一般会計 決算特別 委員会	【ブロック塀の進捗管理】 所有者が個人若しくは事業者という難しさはあるが、通学路沿いの危険なブロックがまだ22か所残っており、早急に対応すべき。	学務課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年3～4月に、通学路のブロック塀の再点検を実施。対象ブロック塀のカルテを作成し、以降自宅訪問やボスティングにより補助制度を周知。</li> <li>通学路合同点検においても、交通安全だけでなく、防犯、災害の視点からも危険箇所を抽出。</li> <li>令和4年11月も、戸別訪問を実施。倒壊の恐れがあるブロック塀を放置して第三者に危害を加えた場合、所有者に対して賠償責任が発生する可能性があるため、ブロック塀改修の重要性を周知。</li> <li>ブロック塀の所有者が個人や事業者であるため、市としては補助制度を運用したり、安全対策について協力を願う形になるので、今後、仕組みの見直し等も必要と感じている。</li> <li>今後も補助制度を担当する都市計画課や通学路点検にかかわる学校、保護者、関係機関と連携し、進捗状況を共有しながら、改善できるよう取り組んでいく。</li> </ul>
馬場賢司委員	一般会計 決算特別 委員会	【学校プール改革経費】 ・民間プール授業の概要 ・民間プール活用のメリット ・保護者、教員、児童の声	統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間プール活用のメリットは、教員による水質管理が不要になること、プール監視員の確保が不要になること、天候に左右されず授業を実施できること、プールインストラクターによる指導による指導の充実などが挙げられる。令和4年度の実施率は100%であり、予定や見直しを立てて実施してきた。</li> <li>児童の声としては、「とてもきれいで泳ぎやすかった。」「寒い日でも水温は暖かかった。」「コーチに教えてもらって水泳がうまくなった。」などがあった。保護者の声としては、「天候に左右されず確実に実施してくれたのがよかった。」「バスも大型で安全に運行してくれたので安心した。」「教職員の声としては、「天候に左右されず計画的に授業を実施できた。」「プールインストラクターが指導に加わることでプール指導の負担が軽減された。」「水質管理をすることがなくなっただけで負担が減った。」などがあった。</li> </ul>

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
佐藤琢磨 議員	一般質問	<p>【日野市財政再建計画と今後の学校施設の在り方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校有料化アンケートにはどのような狙いがあるのか。どうして有料化の検討をするのか。</li> <li>・市は子どもの育みについては出来る限り無料化していくべきと考えるが、学校開放の有料化の方針はこれに逆行する。有料化を行うのなら、学校施設の整備が先ではないか。</li> </ul>	生涯学習担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放有料化検討は、令和5年3月に「日野市手数料、使用料等の設定に関するガイドライン」の改訂を受け、着手。</li> <li>・学校開放有料化検討アンケートは、有料化の要否の検討にあたり、広く市民の皆さまの意見を聴くことを通じて、現実の利用状況、運用の実態、課題の有無をしっかりと把握し、検討に反映させることを目的に実施。</li> <li>・検討の結論を導くにあたっては、アンケートでいただいたご意見や、今夏実際に職員が学校施設を回りの把握できた実態、学校開放の運用・管理の状況、利用者負担の考えかた、市他施設や他団体の状況などの要素を総合的に考慮し、慎重に進めていく。</li> </ul>
馬場賢司 議員	一般質問	<p>【子どもや若い世代の皆様が活躍できる取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館としての子どもや若者の活躍について</li> </ul>	生涯学習担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野宿発見隊（事務局：日野図書館）が、毎年5月に開催する、「スタンフラリーin日野宿」で、日野宿周辺の中学生・高校生と市内及び近隣の大学生、留學生がスタッフとして活躍している。</li> <li>・日野第一中学校の敷地内や校舎周辺を流れる日野用水の清掃で、日野宿発見隊とともに中学生が活躍している。</li> <li>・高樫図書館を拠点に、高校生や大学生などが、同世代へ向けて、図書館や読書の魅力を伝えるために、「日野ヤングスタッフ」として活動している。</li> <li>・中学生が作家との交流をきっかけとして本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を行う「中学生と作家の交流事業」がある。</li> <li>・多くの子ども、若者が活躍する機会を創出できるよう、今後も創意工夫しながら取り組んでいく。</li> </ul>
馬場賢司 議員	一般質問	<p>（再質問）【イベントなどに参加した子どもや若者の声を反映することについて】</p>	生涯学習担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館では、イベント開催後に、アンケート実施や反省会などを行い、参加した子どもや若者から意見や感想を聞いている。</li> <li>・今後も、子どもや若者の意見や感想を大切に、子どもや若者が参加しやすく、活躍できる機会を作るよう努めていく。</li> </ul>

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
岡田じゅん子議員	一般質問	【今後の公共施設のあり方について～ただ、でも、いくつになっても、学びの権利が保障されるまらづくりを！】 ・公共施設の再編による複合化、多機能化について問う	生涯学習 担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平山季重ふれあい館は、図書館、交流センター、子育て広場、ブラウジングコーナー、地域交流広場等の複合施設となっている。</li> <li>・1階のブラウジングコーナーでは、中高生が勉強をしている光景や図書館の本、新聞、雑誌を読む方たちの姿が見られ、おもしろい時間を過ごしている。</li> <li>・平山図書館では、周辺の史跡めぐりの地図を配布し、平山地域周辺のハイキングに行かれる方によく利用されている。</li> <li>・2階や3階は、交流センターの会議やサークル活動、ダンス・音楽などの文化・芸術活動、室内スポーツで使われ、調理実習や楽器の練習もできる。</li> <li>・2階の市政情報コーナーは、飲食が可能であり、子育てひろばでは親子同士が飲食しながら交流する姿を見ることができている。</li> <li>・利用者からは「駅前に交流施設があって便利」「勉強できるスペースがあり、ありがたい」といった声もあがっている。</li> <li>・それぞれの施設の持ち味を活かした活動が行われているのはもちろんのこと、複合施設であるからこそその多世代が集う場ともなっている。</li> </ul>
奥住匡人議員	一般質問	【さらなる学校での地域参加と環境整備を】 ・新型コロナウイルスの取り扱いが引き下げられ学校における地域参加も再開されているが、現状はどうなっているのか。 ・学校開放の在り方見直しと夜間照明の設置拡大について、夜間の利用も整えば、利用者層の広がりがも期待出来るのではないか。	生涯学習 担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大を受け、対面・集合が必要な支援活動を控える流れとなったことから、令和3年度は令和元年度比でおよそ半分程度にまで活動実績が落ち込んだ。令和4年度には、活動日数も回復傾向となったが、参加者数は微減が継続しており、令和5年度も令和4年度と概ね同様の状況である。</li> <li>・数年間にわたり一旦活動が途絶えてしまったことで、活動から離れてしまった方々がいることや、学校を支援する活動があるということ自体の認知度が低下しているという状況と考えている。</li> <li>・市では、「地域学校協働活動推進事業」のリーフレットを作成したが、活動を広く周知していくことが課題と認識している。</li> <li>・学校施設については、社会教育法等の趣旨から、なるべく広く市民の利用に供するべきと考えており、同時に、学校開放は学校教育に支障のない範囲で行うものともなされていることから、市としては、学校開放の可否については現場である学校の判断をまずは尊重している状況である。しかし、学校も公共施設のひとつである以上、広く・公平に市民の皆さまに利用いただけるよう仕組みを整理していくことが課題と認識している。学校開放の意義・目的を教育委員会として改めて整理し、各校へ積極的な開放を引き続き呼びかけ、市民が現実に利用できる枠を増やすという対応を考えていく。</li> <li>・学校施設は、その本来の役割である義務教育に関する部分についても老朽化が進んでおり、限られた予算での対応ということを考えた場合、子どもたちや学校生活に関係の深い部分を優先することになる。このことからナイター設備の設置校を増やす形で夜間利用枠を拡大していくことは、現時点ではあまり現実的なことは考えにくい状況である。</li> </ul>

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
窪田知子議員	一般質問	<p>【子どものスポーツ・文化活動の支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放有料化検討アンケートについて、議員に多くの声が届いている状況</li> <li>・アンケートの対象者、回答数は</li> <li>・学校開放利用団体の数と、そのうち子ども中心の団体の数は</li> <li>・この先有料化を検討するとしても、子どもたちの活動に負担が生じないようしてほしい</li> </ul>	生涯学習担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象は限定せず、Webフォーム上からただでさえも答えたいだけという形としていた。回答数は約800件</li> <li>・小学校については、令和5年度に自主管理運営委員会に登録されている団体が157団体、うち57団体が子ども主体とみられる。</li> <li>・中学校については、令和5年度に学校開放利用実績がある団体が169団体、うち44団体が子ども主体とみられる。</li> <li>・以上により、小、中をあわせて、登録団体のおよそ3割が子ども主体の団体とみられる。</li> <li>・アンケートにおいても、子どもたちが活動を続けられるよう、市が応援してほしいという趣旨のご意見は非常に多くいただいている。今後の検討にあたっては、現在の社会情勢やアンケートにお寄せいただいた多くの声をしっかりと踏まえて考えていきたい。</li> </ul>
峯岸弘行議員	一般質問	<p>【チャットGPTの活用と行政DXの推進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル図書館について</li> </ul>	生涯学習担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル図書館は、図書館に行かなくても本を借りることができ、いつでも利用できるなど大きなメリットがあることを認識している。</li> <li>・今年5月に電子書籍の先進市である立川市図書館の館長を招いて、教育部の職員を対象に電子図書館の勉強会を開催した。</li> <li>・その話の中で、学校への働きかけにより児童生徒が学習用端末を使用して電子書籍を利用することで利用率が大きく向上したことが話題となった。</li> <li>・電子書籍は紙の書籍と異なりシステムの利用料や書籍の利用料が継続的に必要となる。</li> <li>・教育指導課を始めとした関係部署と連携し、導入に向けて検討していく。</li> </ul>
谷和彦議員	一般質問	<p>【学校開放（校庭、体育館等）有料化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放の意義と歴史</li> <li>・有料化への考えかた</li> <li>・管理運営体制と一般の施設との差別化は、</li> <li>・有料になった場合、減免制度を設けるのか。料金の収容の仕方は、費用対効果は、</li> <li>・現時点での方針</li> </ul>	生涯学習担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の体育施設の不足を主な背景として、周辺自治体と比して早い時期に学校開放を開始。</li> <li>・学校開放有料化検討は、令和5年3月に「日野市手数料、使用料等の設定に関するガイドライン」の改訂を受け、着手。</li> <li>・一般的なスポーツ施設、南平体育館やグラウンドと、学校体育館や校庭との違いとして、学校施設はあくまで学校教育のための施設であり、学校開放が無かったとしても施設は維持されるものであることや、施設の開放はあくまで「学校教育に差支えない範囲」で行うものである。</li> <li>・常時スポーツなどで利用できざる施設ではないため、利用できる日や時間に制限があり、また、設備面においても、基本的には学校教育に必要な範囲で整備された設備等を活用するといふ範囲となっている。</li> <li>・周辺自治体の状況では、一定の要件を満たせば、使用料金の免除・減額の制度が導入されていることが多い。</li> <li>・周辺自治体の状況では、所管課窓口での使用料納付、納入通知書を利用者へ発行し利用日までに納付、また公共施設に設置している券売機や窓口で利用券を購入し利用日当日に管理人に返す方法で、使用料を徴収している例が多い。</li> <li>・有料化のコスト対効果という視点では、甘い見直しは立てにくい状況である。</li> <li>・アンケートでいただいた多くのご意見や、直前に把握できた施設等の現状について、有料化の要否の検討材料として十分にこれを踏まえ、多くの方に納得いただける形となるよう、慎重に検討を行いたい。</li> </ul>



要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 5 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
白井なお子委員	一般会計 決算特別 委員会	<p>【旧大成荘事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大成荘については市民の思い入れが強い施設で、未だに懐しむ声を聞く。譲渡にあたり、譲渡先の事業者と、新たな施設の利便性について日野市民に対するいわゆる優遇策の検討はあったのか</li> <li>・事業者として日野市民に対する特段の義務がないことは承知しているが、お互いの利益になるような形がもしあれば、何か検討をしてほしい</li> </ul>	生涯学習 担当参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲渡に係る一連の交渉から譲渡後の今日まで、そういった検討は行っていない。</li> <li>・後段は要望として議員が述べたのみ（答弁なし）</li> </ul>

別表2

教育費（歳出）

単位：千円

	補正前の額	補正額	合計	主な内容
教育総務費	2,749,774	23,961	2,773,735	
教育指導費	352,888	177	353,065	教育指導一般経費（教育指導課） 役務費 飼育動物病気治療手数料 177
教育センター費	64,166	780	64,946	教育センター事業会計年度任用職員人件費（職員課） 旅費 費用弁償 123 学校生活相談事業会計年度任用職員人件費（職員課） 職員手当等 会計年度任用職手当等 391 旅費 費用弁償 227 ほか
教育支援費	248,046	5,282	253,328	スクールソーシャルワーカー事業会計年度任用職員人件費（職員課） 報酬 会計年度任用職員報酬 3人 1,893 職員手当等 会計年度任用職手当等 379 旅費 費用弁償 130 特別支援学級運営会計年度任用職員人件費（職員課） 報酬 会計年度任用職員報酬 70人 2,258 職員手当等 会計年度任用職手当等 451 旅費 費用弁償 116ほか
放課後子ども育成費	1,328,575	17,222	1,345,797	※職員課
小学校費	1,971,135	0	1,971,135	補正無し
中学校費	1,042,987	483	1,043,470	補正無し
教育振興費	220,883	483	221,366	より魅力ある学校にするプロジェクト経費（教育指導課） 負担金、補助及び交付金 通学費補助金 379 ほか
幼稚園費	947,499	0	947,499	補正無し
社会教育費	1,148,620	0	1,148,620	補正無し
体育費	312,215	0	312,215	補正無し
教育費計	8,172,230	24,444	8,196,674	

報告事項第20号

令和5年度就学援助申請者数及び認定者数（令和5年4月～令和5年6月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

令和5年度 就学援助申請者数及び認定者数

令和5年4月～6月申請分

(単位：人)

	申請者数			認定者数						否認定者数		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
4月	877	587	1464	73	40	113	730	505	1235	74	42	116
5月												
6月	17	8	25	-1	0	-1	17	7	24	1	1	2
合計	894	595	1489	72	40	112	747	512	1259	75	43	118

※平成29年度から4月～5月を当初受付期間にしています。

※「-1」は要保護から準要保護に転じた人数。

参考（過年度データ：各年度4月～6月申請分）

	申請者数			認定者数						否認定者数		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
令和4年度	982	548	1530	65	40	105	834	475	1309	83	33	116
令和3年度	1042	618	1660	63	47	110	922	537	1459	57	34	91
令和2年度	986	581	1567	67	38	105	840	488	1328	79	55	134
令和元年度	977	605	1582	54	43	97	847	519	1366	76	43	119

報告事項第21号

令和5年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

令和5年度 日野市高校生奨学金申請者数及び決定者数

【申請書配布期間】 令和5年6月1日(木)～6月30日(金)

【申請受付期間】 令和5年6月10日(土)～6月30日(金)

(単位：人)

	申請者数	最終 決定者数	認定	非認定		
				所得制限を 超過した者	選考基準に 満たない者	計
1年生	76	71	71	5	0	5
2年生	56	53	53	3	0	3
3年生	44	42	42	2	0	2
計	176	166	166	10	0	10

参考 (過年度データ)

	申請者数	最終 決定者数	認定	非認定		
				所得制限を 超過した者	選考基準に 満たない者	計
令和4年度	176	162	162	14	0	14
令和3年度	187	178	178	9	0	9
令和2年度	182	171	171	11	0	11
令和元年度	204	192	192	12	0	12
平成30年度	212	199	199	13	0	13

報告事項第22号

行政情報の公開請求

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

行政情報の公開請求

	請求日	決定日	請求件名	決定内容
1	9月15日	9月29日	<p>2023年9月15日(金)の市教委定例会議案18号「2022年度の事務の管理・執行状況の点検・評価報告書」(全78頁+資料)に関し、2~5のHPに載っていないものを請求する(HPに載っている場合にはどこを見れば良いかを情報提供していただきたい)</p> <p>2.P2とP11~P13にある計12回の教委施策研究会の開催案内・配布資料・会議録(出席者名含む)</p> <p>3.P14の(5)~(7)の市民・PTA協議会・校長会(2023年9月15日に開示頂いた文書は除く)との意見交換会の開催案内・配布資料・会議録(出席者名含む)</p> <p>4.P26の「6 現代の教育問題に対応した施策」の「(2)学校~改革」のうち「副校長補佐のさらなる拡充」に関する資料一式(国や都からくる予算、これまでの進捗状況とこれからの配置計画、配置した(する)校名と配置人員の氏名や過去の職・勤務校・年齢・教科など)</p> <p>2.~4.の開示に当たっては、公民館等生涯教育(社会教育)については、自衛隊連携(防災教育等)以外の物は対象外とする。また、特支教育と学校の施設・設備(建築設計、クーラー、ICT、</p>	全部公開及び 非公開及び 不存在



			<p>業者との契約・図面) に関するものは対象外とするが、私が重視している“君が代”、“愛国心教育”問題等学習指導(要領)に関するものや自衛隊連携問題と同頁にたまたま載っている場合は、黒塗りせず、そのまま出してください。但し、開催日時が分かる頁も出してください。</p> <p>5.P18の2022年5月13日の「退職校長・副校長感謝式」の開催案内、対象者・出席者・職・氏名、式次第、式の会議記録(君が代の起立強制、国旗の位置と敬礼を含む)</p>	
--	--	--	--	--



報告事項第23号

日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和5年4月～令和5年9月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年10月12日 提出

日野市教育委員会  
教育長 堀川 拓郎

令和5年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

№	実施団体名	事業名	目的・内容	実施場所	実施日(開始～終了)	共催・後援	承認日	
1	劇団「ひの」	児童劇 動物会展	舟波に演劇に触れることにより、子どもたち(親子)とのコミュニケーションを図り、豊かに想像力を高め、文化の向上に努める。	土生公会堂	令和5年6月24日 令和5年6月25日	後援	令和5年4月12日	4
2	日本児童・青少年演劇団 劇団組合	2023年 第91回夏休み児童・青少年演劇フェスティバル	舞臺芸術体験の機会拡大、子ども達の人格形成や心の成長に繋がる作品を提供する	こくみん共済coopホール/スペース・ゼロ	令和5年7月22日 令和5年7月31日	後援	令和5年4月12日	4
3	一般社団法人日野市体育協会	令和5年度 東京都ジュニア育成地域推進事業	(スポーツを地域に普及させる。22選手強化を図る。	市民陸上競技場、市民の森ふれあいホール、南平体育館他	令和5年4月1日 令和5年3月31日	後援	令和5年4月12日	1
4	公益財団法人社会教育協会 日野社会教育センター	クッキングデイ「ひの」	「モノを大切にしよう」大好きなモノに出会うこと	日野市多摩平3丁目 ココ豊田店北側はらっぱ	令和5年5月28日 令和5年5月28日	後援	令和5年4月12日	4
5	日野市	第61回 日野市民体育大会	市民の体力向上を図り、日頃の練習成果を発揮する機会を提供する。	市民陸上競技場、市民の森ふれあいホール、南平体育館、市内野球場 他	令和5年4月16日 令和5年3月31日	後援	令和5年4月12日	1
6	公益財団法人 日本フィル ハーマニー交響楽団	日本フィル 夏休みコンサート2023	オーケストラが奏でる芸術性の高い音楽を、音楽の素晴らしさを親身現場で多くの子どもたちやご家族に体験してもらいたい。このコンサートが抱えた目的を達成し、子どもたちの豊かな感情を呼び起こす企画にしたい。	東京芸術劇場、サントリーホール	令和5年7月28日 令和5年6月5日	後援	令和5年4月12日	2
7	ふれあい健康大学	心と体の健康クラブ「自分の健康は、自分でつくる」	・中高齢者の引きこもり、フレール化を予防し、明るく、楽しく健康な生活を送る生活作りを支援。 ・行政、地域支援センターと連携しながら地域の見守り活動を通じて、仲間の風うコミュニティ作りの一助とし、地域社会に貢献する。	多摩平の森 ふれあい館 3F	令和5年4月15日 令和5年3月17日	後援	令和5年4月12日	3
8	浅川少年少女合唱団	ミュージカル「七つの星」上映会	市内の小中学生にミュージカルの楽しさを広く伝えるため	日野市民会館(小ホール)	令和5年4月30日 令和5年4月30日	後援	令和5年4月12日	2
9	浅川少年少女合唱団	子どものためのミュージカル講座2023	市内の小中学生にミュージカルの楽しさを広く伝えるため	ふれあいホール	令和5年5月3日 令和5年5月6日	後援	令和5年4月12日	3
10	特定非営利活動法人子ども のまなび	フリースペース「たけのこオープンデー」子ども食堂・子ども文庫	不登校の子ども達の居場所フリースペース「たけのこ」を地域の皆さまにご理解いただくためのオープンデーとして子ども食堂・子ども文庫を開催する。	日野市西山4-18-12 当団体活動拠点	令和5年5月10日 令和5年3月12日	後援	令和5年4月12日	4
11	令和5年度多摩・島し子ども 体験日野市・八王子市共同 事業実行委員会	トイトイ オークストラ!	日野市と八王子市両市の子どもたちへ、一連のオーケストラ(東京シティフィルハーモニック管弦楽団)による大規模な本格的な演奏を旗で感じる機会を設け、子ども達の心に大きな感動と夢を植え、豊かな感性を育み、得難い体験とする。	COMホール八王子	令和5年8月18日 令和5年2月18日	後援	令和5年4月12日	2
12	八王子市ボウリング連盟	第27回 初心者向け 後援ボウリング教室	ボウリングの普及と地域の福祉の発展を図ること	SAP日野ボウル	令和5年5月22日 令和5年7月11日	後援	令和5年4月21日	1
13	多摩区朝陽会	佐藤マオオンライン講演会	日野市の小学生の新聞を活用した学びを目的とする。	YouTube Liveによるオンライン開催	令和5年7月13日 令和5年7月13日	後援	令和5年5月1日	3
14	キッズマネースクール くま ん校	キッズマネースクール	小学生親子を対象とした金融教育	生活・保健センター	令和5年6月18日 令和5年6月18日	後援	令和5年5月1日	3
15	日野市弓道連盟	初心者弓道教室	日野市内在住・在学・在学の中高校生以上を対象に弓道実技の機会を与え弓道の基本を学び体験を通じて心身共に健全で豊かな人間性を育成する	日野市立南平体育館弓道場	令和5年8月4日 令和5年10月14日	後援	令和5年5月1日	1
16	日野市子ども文化芸術事業 実行委員会	日野市子ども文化芸術事業(伝統文化現代芸術体験事業)	①伝統文化の継承及び体験事業による子ども達の拡大 ②子ども達の成長への支援と地域活性化	浅川交差点センター他	令和5年5月12日 令和5年3月31日	後援	令和5年5月9日	4
17	一般財団法人言語交流研究 所 ヒップファミリークラブ	家族で楽しむトクワク多言語ワークショップ	多言語の自然習得と国際交流・相互理解について共に考える	市民の森ふれあいホール	令和5年5月11日 令和5年11月26日	後援	令和5年5月10日	3
18	日野・多摩・稲城地区協議会 日野分団	第73回「社会を明るくする運動」	本運動の一環として市内8中学校において児童保護に際しての児童虐待防止の啓発活動を実施し、広く市民に活動を普及する。学校・家庭・地域との連携を図り、犯罪や非行の防止と、児童について理解を深めるとともに、青少年の健全育成に努める。	中学校6校、日野・豊田・高橋不動の3児童館、市役所1階ホール	令和5年8月1日 令和5年12月31日	後援	令和5年5月11日	4
19	学校法人実践女子学園	第21回 下田歌子賞	下田歌子の業績を顕彰しつづ、これからの生き方、教育の在り方などを共に学ぶ	実践女子学園中学校高等学校	令和5年6月7日 令和6年1月27日	後援	令和5年5月11日	4
20	学校法人三幸学園 東京医療保健専門学校 東京ビューティーム&ブライ ダル専門学校	中学生向けお仕事体験イベント	中学生のキャリア教育が推進されている現在、中学生に対して必要な体験学習を促進していただくことで、中学生のキャリア教育支援を行う。地域にある専門学校に気軽に参加いただくことで、地域支援の一環につなげたい。	東京医療保健専門学校 東京ビューティーム&ブライダル専門学校	令和5年10月14日 令和5年10月14日	後援	令和5年5月24日	4
21	中央大学学芸会文化運営音楽 研究会吹奏楽部	中央大学学芸会文化運営音楽研究会吹奏楽部「サマーコンサート2023」	「地元で愛される」を目的とし、日野市や八王子市をはじめとする近隣の地域の皆さまに「吹奏楽」を身近なものとして、吹奏楽という音楽ジャンル及び文化の発展に貢献すること。	COMホール八王子	令和5年7月30日 令和5年7月30日	後援	令和5年5月24日	2
22	日野新選組同好会	ひのっ子新選組探検イベント	日野市内の小学生が新選組のふるさと日野について学ぶ機会を提供する。	高輪不動車・多宝ビル2F事務所ホール	令和5年8月19日 令和5年8月19日	後援	令和5年5月22日	4
23	一般社団法人心理研究所	第19回しきのみみ子供短歌コンクール	小学校の学習指導要領で短歌が国語の指導教材として取り上げ、担担ぐくを通して日本の伝統文化を継承し、児童の国語力を高め、豊かな人間性を育成する。	東京都千代田区紀尾井町4-5 (一般社団法人心理研究所)	令和5年8月19日 令和5年9月29日	後援	令和5年5月24日	4
24	MOA美術館日野児童作品 展実行委員会	第28回MOA美術館日野児童作品展	「学習指導要領」にもとづき、子供達が自然・環境、社会、動物との関わりを通して、興味や関心をもち、個性を豊かにしながら絵画や書写によって表現することで情緒を豊かに、豊かな心を育てることを目的とする。	イオンモール多摩平の森 イオンホール3F A-B	令和5年12月9日 令和5年12月10日	後援	令和5年5月24日	2
25	一般社団法人日本のおどろ 文化協会	文化育后継文化親子教室事業 赤糸へつなげ「日本の心」日本のおどろ子ども体験教室	我が国の大切な文化財である日本のおどろを継承しつづける普及と発展を図り、地域の多様な価値観を尊重して子どもにも文化活動等の取り組みを支援。又、その基礎や技術を磨くための機会を提供し、視野や更なる世界に通用する創造性豊かな子ども達の育成を目的としています。	日野市市民の森ふれあいホール・市内公共施設	令和5年6月12日 令和5年1月31日	後援	令和5年5月25日	2
26	一般社団法人日野青色申告 会	日野青色申告会 第6回小学生の「税の普及展」	常識を通じて税と学びの大切さを知ってもらうため	ひの森ホール展示室 ひの森ホール小ホール	令和5年11月24日 令和5年12月26日	後援	令和5年5月25日	2
27	公益財団法人 日野法人会	公益財団法人日野法人会女性部会 第12回役に就く経ばがをコン クール	小学生を対象とした環境教育	表彰式 京王プラザホテル八王子 展示場所 イオンモール多摩平の森 日野イベントスペース 日野後援会、多摩市環境 審議会、稲城市環境ロビー	令和5年7月1日 令和5年3月15日	後援	令和5年5月1日	4
28	日野市商工会	日野ちれせ	まちを歩きながら、新規のお客様との出会い及び販路の拡大を図ることで、お客さんとの絆がより強くなることを目的とする。	参加事業所内	令和5年10月16日 令和5年11月30日	後援	令和5年5月5日	4
29	特定非営利活動法人 日本 赤十字会	多摩の産果体験 多摩川アユ	近代化、高齢化とともに失われつつある第一産業。我が国における食糧自給率の低さが課題とされている中、まずは「産果体験」を入口に「産果販売」して第一産業の学びにつながる機会を提供する。このことで次世代の子どもたちへ第一産業という自然と関わりあわせの職業についての存在意義や第一産業の重要性を伝えることへの意識を伝える機会を提供することを目的とする。	浅川(多摩川支流)ふれあい稲穂付近	令和5年8月5日 令和5年11月11日	後援	令和5年6月6日	4

令和5年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

30	特定非営利活動法人 日本赤十字会	多摩の産果体験 東光寺大根	近代化、高齢化とともに失われつつある第一次産業。我が国における食糧自給率の低さが課題とされている中、まずは「楽しみ」を入口に「産果観光」として第一次産業の学びにつながる機会を提供する。このことで次世代の子どもたちへ第一次産業という自然と結びあふれる職業についての存在意義や重要性、次世代も自らの「働くこと」への意義などを伝える機会を提供することを目的とする。	セツ造ファーマーズセンター、東光寺大根の採・加工場	令和5年9月3日	令和5年12月1日	後援	令和5年6月10日	4
31	東京土建一般労働組合日野支部	こどもまつり	地元建築職人が地域に奉仕する活動とともに、建築家の魅力を伝え、安心・安全の街づくりをすすめる活動	日野中央公園	令和5年7月9日	令和5年7月9日	後援	令和5年6月5日	4
32	こどもまなびBASE Hmo	親子で参加する考える方法がわかるワークショップ	ちよんと考えることができると、自分の意見が言えるようになり、人の意見も聞けるようになることでコミュニケーション能力も高まります。今回は、考える手法(TOCC)を教えている方を講師にお招きして「考える方法」を親子で体験しながら学べるワークショップを開催します。	日野カフェセミハウス第1号	令和5年7月1日	令和5年7月1日	後援	令和5年6月5日	4
33	日野市民会館(指定管理者 株式会社タイムックスパブリックビジネス)	キョウクラシックバレエ	一流の技術に裏打ちされた真の美しい芸術文化に傾心し心を養い、貴族ファンを招待するとともに建設の存在感を示す。	ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール	令和5年9月13日	令和5年9月13日	後援	令和5年6月2日	2
34	まちづくり市民フェア2023実行委員会	まちづくり市民フェア2023	市民団体の活動発表や活動展示を行う市民の皆さんに知っていただくことを目的とする。	市民の森ふれあいホール・仲田の森児童公園	令和5年10月15日	令和5年10月15日	後援	令和5年6月8日	4
35	特定非営利活動法人 学塾社教育研究所	スクールバンクフェス2023入試相談会	多摩地区在住の小中学生に入学相談を提供する。	KISJ日本語学院・日本芸術高等学校	令和5年9月23日	令和5年10月22日	後援	令和5年6月8日	4
36	実践女子大学	ひらめきとよき未来サイエンス 調理の不思議は科学のふしぎ～？ ヒオスって何？～	学習が持つ意義や、学習と日常生活のかかわりに対する理解を深める機会を社会に提供し、我が国の将来を担う児童・生徒を対象として、若者の科学的好奇心を刺激してひらめき、とまど心の置かさをわかりやすく克服する。	実践女子大学	令和5年8月5日	令和5年8月5日	後援	令和5年6月18日	3
37	ひの市民リサイクルショップ 回転市場	市民還元イベント 映画上映会無料ご招待	回転市場の活動に、ご支援ご協力いただいている市民みなさまへ感謝して	七生公会堂	令和5年9月30日	令和5年9月30日	後援	令和5年6月19日	4
38	日野市文化協会	日野市民文化祭	市民が日頃の芸術文化活動の成果を発表する機会を作り、市民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の発展を図ることを目的とする。	市民会館、七生公会堂、ふれあいホールほか市内公共施設等	令和5年9月9日	令和5年11月26日	後援	令和5年6月19日	4
39	日野市中体連	第26回日野市中学校陸上競技大会 東京都中学校支部対抗陸上競技大会選考会	・日野市内各中学校の陸上競技力の向上 ・東京都中学校支部対抗陸上競技大会の代表選手選考	日野市民の森 陸上競技場	令和5年9月16日	令和5年9月16日	後援	令和5年6月19日	1
40	日野市民会館(指定管理者 株式会社タイムックスパブリックビジネス)	数量 featuring 三宅希吾他同窓会	建設の魅力を伝え、古典芸能に傾心し心を養い提供する。	ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール	令和5年9月7日	令和5年9月7日	後援	令和5年6月19日	2
41	社会福祉法人 東京光の家	光(バン)が結成35周年記念チャリティコンサート 愛のサウンドフェスティバル 掲げるサウンド―地域を結ぶ―	障害者支援施設利用者が、音楽会を通じて社会参加を果たす活動を行う。	ひの煉瓦ホール	令和5年9月23日	令和5年9月23日	後援	令和5年6月27日	2
42	日野市サッカー連盟	第20回日野市長杯争奪中学校サッカー大会	日野市内の中学校サッカー部が一層に盛り、サッカー競技を通じてスポーツの振興、心身の健全な発達及び親交を図る。	日野市民の森 陸上競技場	令和5年7月22日	令和5年8月5日	後援	令和5年6月27日	1
43	手をつなごうこどもまつり実行委員会	手をつなごうこどもまつり	・日頃より子どもに関わる団体で活動することで、団体相互の連携・交流を図る。 ・子育て等、子ども達の日頃の成果発表・自己実現の場とする。	日野市民の森ふれあいホール・仲田の森児童公園	令和5年11月5日	令和5年11月5日	後援	令和5年6月27日	4
44	東京キッズマネースクール nextinnovation校	キッズマネースクール(おみせやさんごっこ)	日野市在住の児童及び保護者への生涯教育	Plant 日野市多摩平の産業連携センター イベントスペース	令和5年8月27日	令和5年8月27日	後援	令和5年7月10日	3
45	一般社団法人みみ心の音楽文化推進グループ	コンサート×おしゃべりパーティーヴェンuer「物語」	・クラシック音楽にあふれる環境がない方やお子様たちに、音楽の魅力を伝える ・親子・家族の思い出になるような場を提供する ・全国を巡回公演し、子どもたちにクラシック音楽を鑑賞する機会を提供する。演奏曲の背景などをお話を通して伝えることで、理解深化の工夫を図り、子どもの聴く態度や聞く耳を育て「聴育」公演により、教育と芸術文化の振興に寄与する。	ひの煉瓦ホール	令和5年12月27日	令和5年12月27日	後援	令和5年7月18日	2
46	一般財団法人カンボジア地雷除去キャンペーン	2023年度書き損じハガキ回収プログラム	カンボジア地雷除去支援および日本の子どもたちに対する国際理解教育の促進	市内の各学校および周辺地域	令和5年9月1日	令和5年9月31日	後援	令和5年7月18日	4
47	公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団	匠祭のたまご～多摩伝統文化フェスティバル2023～	多摩地域及び八王子市が所有する地域の文化資源を活用して、伝統文化に馴染みのない人々が親しみやすい工夫を凝らしたプログラムを提供し、多野を伝統文化・芸術の魅力を発信する。また、フェスティバルの開催を通して伝統文化の存続の重要性の理解や思いを育む。多摩地域及び八王子市の伝統文化・芸術を次世代へ継承する	JR八王子駅北口 西武射野ロード、桑部テラスほか	令和5年11月4日	令和5年11月5日	後援	令和5年7月25日	4
48	中央大学	2023年度中央大学学生スポーツ大会	地域との交流、相互理解、親善のため	中央大学多摩キャンパス	令和5年12月9日	令和5年12月3日	後援	令和5年7月25日	1
49	東京キッズマネースクール nextinnovation校	キッズマネースクール(おみせやさんごっこ)	日野市在住の児童及び保護者への生涯教育	Plant 日野市多摩平の産業連携センター イベントスペース	令和5年10月8日	令和5年10月8日	後援	令和5年8月3日	3
50	八王子市ボウリング連盟	第28回 初心者向け 健康ボウリング教室	ボウリングの普及と地域の各種の健康促進を図ること	SAP日野ボウル	令和5年9月11日	令和5年11月2日	後援	令和5年8月3日	1
51	東京キッズマネースクール nextinnovation校	キッズマネースクール(おみせやさんごっこ)	日野市在住の児童及び保護者への生涯教育	Plant 日野市多摩平の産業連携センター イベントスペース	令和5年10月22日	令和5年10月28日	後援	令和5年8月3日	3
52	公益財団法人社会教育協会 日野社会教育センター	「こどもと話す民主主義トークイベント」	民主主義を身近に、大人も子どもも一緒に考えて話すトークイベント	TomorrowPLAZA2階 TreeHALL	令和5年10月15日	令和5年10月15日	後援	令和5年8月10日	4
53	キッズマネースクール (まごさん校)	キッズマネースクール	小学生親子を対象とした生涯教育	生活・保護センター	令和5年9月24日	令和5年9月24日	後援	令和5年8月14日	3
54	(非営利型)一般社団法人 Neracy	おやこde黄良彰成アカデミー	ニュースで見たお金の100万円問題が不安、積み立てNISAやジュニアNISAが話題になっていること をテレビや書籍で見たけど読んでもよく分からないし怖い、でもお金のことは早い段階から子どもが方がいい気がしている、そんな親子が100円のお小遣いで今すぐ安心して資産形成を始められることを目的とし、その先に「親子がお金を理由を争う争いがない社会」を目指しています。	オンライン	令和5年7月7日	令和5年10月29日	後援	令和5年8月14日	3
55	ヒューマンアカデミーロボット教室本部	ヒューマンアカデミーロボット教室 ロボット製作・無料体験会	プログラミング教育や、学習指導要領改訂に対する保護者の理解・関心を高める。また、市内の子供にロボットやプログラミング的思考を活用する学習に繋がる機会を創り、興味関心を高める。これにより、ロボット産業や今後のIT化に対応できる考え方や能力を身に付けるための地域性を育む活動・促進へ貢献することを目的とする。	葛城1001-5ビル東棟2F(葛城不動教室) 多摩平1-10-4清水ビル4F(日野重田教室)	令和5年9月15日	令和5年10月31日	後援	令和5年8月14日	4
56	東京キッズマネースクール nextinnovation校	キッズマネースクール(おみせやさんごっこ)	日野市在住の児童及び保護者への生涯教育	Plant 日野市多摩平の産業連携センター イベントスペース	令和5年10月22日	令和5年10月29日	後援	令和5年8月15日	3
57	日野・子どもとまの会 会	秋の子どものままつり	おはなし会を親子で楽しんでもらい、本に傾心し機会とする	日野社会教育センター	令和5年10月15日	令和5年10月15日	後援	令和5年8月16日	4

令和5年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

58	公益社団法人 スコーレ家庭 教育振興委員会 武蔵野地区 実行委員会	スコーレ家庭教育講座 『のびる子どもも育てたい～男の子 方でも子どもは育む～』	子育てに大切な原理原則をお伝えし、実生活に役立ててい たく	府中市市民活動センターフラッグ6階 第3会議 室	令和5年11月16日	令和5年11月16日	後援	令和5年8月15日	3
59	一般社団法人 日本クリケッ ト協会	2023年度全日本学生クリケット選手 権	クリケットの大学日本一を決定し、近畿市内外の皆さまに 大学生による部活動の試合とご観覧いただける機会を提供 する。また開催を通じて、来場者の皆さまに健全で豊かな スポーツの心育と健康として開催する。周辺地域でもス ポーツに関わる機会を提供するために、小中学校及び企 業にポスターチラシを配布・掲載を行う。	昭和公園陸上競技場	令和5年9月17日	令和5年9月17日	後援	令和5年8月22日	1
60	家族の未来に寄り添う会	「家族の未来に寄り添うお金の授業」	日本では、自らの思いを絶ってしまふ方が、年間2万人 と書われています。その中で2割目に多い自決理由が 「経済的事情」で、毎年6000人、つまり毎日16人の方が 自らの命を絶ってしまっていることとなります。 この中には教育資金の返済を原因とする事柄も決して少な くありません。この事柄をほんの少しでも減らしたいと考え、 本講座を開催させていただきます。	オンライン	令和5年9月23日	令和5年10月1日	後援	令和5年8月8日	3
61	宮城復興支援センター	国際交流&イングリッシュキャンプ	※京日本大震災・全国各地災害による仮設住宅入居児童 ・避難所入所児童及び、コロナ禍による子どもたちの 心のケア支援の一助 ※災害の風化防止及び防災意識向上及び防災意識向上 ※子どもたちの国際交流・多文化共生・小学校外国語活動 の促進を目的	千葉県立手賀の丘青少年自然の家地	令和5年9月9日	令和6年3月31日	後援	令和5年8月22日	4
62	公益社団法人社会教育協会 日野社会教育センター	日野けん玉大会	けん玉を愛った多世代交流の場づくり	Tree HALL	令和5年10月1日	令和5年10月1日	後援	令和5年8月31日	4
63	立川シアタープロジェクト実 行委員会	子どもとわたが一緒に楽しむ音楽 vol.7 『まさかコンサート～はだか の王さまとロロの王さま～』	音楽や舞踊、美術、文字など様々な芸術表現を組み合わ せた総合芸術である演劇を通じて、子どもをはじめ、若者、 乳幼児のいる世帯やお年寄りなど幅広い世代に向けて、 文化芸術を身近に感じてもらい機会を創出する。	たましんRISURUホール(立川市市民会館)	令和5年12月22日	令和5年12月24日	後援	令和5年8月31日	4
64	MMFLAMENCO(エムエム エムフラメンコ)	日野フラメンコプロジェクト La Luz (ラリス)光～闇夜の灯火～	・日野市民及び近隣市民に広く音楽芸術を提供する。 ・スペインの文化遺産であるフラメンコを美術に鑑賞してし る感動を届ける。	日野市 七生公会堂	令和5年11月29日	令和5年11月29日	後援	令和5年8月5日	2
65	ヒューマンアカデミーこどもフ ログラミング教室本部	ヒューマンアカデミーこどもフログラ ミング教室 プログラミング無料体験 会	プログラミング教育は、2020年の学習指導要領改訂後に対 する保護者の関心・関心を高め、また、市内の子供にロ ボットやプログラミング的思考力を活用する学習に臨む 機会を創り、興味関心を高める。これにより、ロボット産業 や今後のITにに対応できる考え方や能力を身につけるた めの地域性を育む活動・促進へ貢献することを目的とし る。	高橋1001-5ビル2階2F(高橋不動教室)	令和5年10月1日	令和5年12月31日	後援	令和5年9月9日	4
66	ヒューマンアカデミー科学実 験教室本部	ヒューマンアカデミー科学実験教室 わくわくがた科学実験・無料体験 会	低年齢のうちに科学体験に取り込むことで、子どもたちが 身近なものから、興味や関心を高め、ITに対応できる考 え方や、自分が得意な領域、知識、思考力を身に付けてい る保護者の方にもSTEAM教育を一緒に考えていただくきっか けにいたします。	百草194第3双床ビルF カルチャールーム百 草	令和5年10月1日	令和5年10月31日	後援	令和5年9月5日	4
67	東京都高等学校体育連盟ボ クシング専門部	関東高等学校ボクシング選抜大会、 関東高等学校女子ボクシング選抜 大会	関東各都県のボクシング大会公式戦	日野市市民の森ふれあいホール	令和6年1月19日	令和6年1月22日	後援	令和5年9月15日	1
68	特定非営利活動法人フラッグ フットボールマネジメントジ ャパン	フラッグフットボール体験会	フラッグフットボール体験の機会を創出することにより社会 教育及び地域スポーツの発展に寄与する。フラッグフット ボールの普及。	中央大学ラグビー場	令和5年10月24日	令和5年10月31日	後援	令和5年9月15日	1
69	帝京大学スポーツ局	帝京大学杯少年少女フットサル大会	学業スポーツの中でも競技人口の多いサッカーについて、 大会等のレベルにより小学校中卒業(4年生)以下 の児童を対象に活躍の場と給予チームとの研鑽の場とな るフットサル大会とサッカー結果を簡便し、サッカーの興 しさと競技する意欲を燃やして欲しい、帝京大学八王子キャン パス近郊自治体における学業スポーツの振興の一環を担 う。	帝京大学八王子キャンパス陸上競技場	令和5年10月29日	令和5年10月29日	後援	令和5年9月15日	1
70	日野サンタマラソン実行委員 会	日野サンタマラソン	スポーツ振興 地域貢献のため	市民の森スポーツ公園 陸上競技場	令和5年11月17日	令和5年12月16日	後援	令和5年8月15日	1
71	参加・体験・感動！ふれあい こどもまつり実行委員会	令和5年度ふれあいこどもまつり	子どもたちが舞台芸術に親しみ、創造力を養うとともに、芸 術家や芸術団体等と直接触れ合うことにより、芸術による 表現や創造の喜び、楽しさを理解し、文化を生み出す心を 育む。	ひの緑瓦ホール ほか	令和5年10月1日	令和6年3月31日	後援	令和5年9月22日	4
72	どうぶつ愛護活動隊Kiyoshi	「小さな命の写真展IN日野 2023年 秋」＆「保護わん保護にゃん写真展」	動物愛護精神の普及啓発活動を通じ、人と動物が共生す る社会を実現する	とよだ市民ギャラリー	令和5年11月21日	令和5年11月26日	後援	令和5年9月28日	4

		4年度	5年度
1	スポーツ	6件	12件
2	音楽・美術	13件	14件
3	講演会	4件	17件
4	イベント	7件	5件
5	その他	5件	14件
	合計	35件	62件

		4年度上半期	5年度上半期
1	スポーツ	8件	13件
2	音楽・美術	7件	12件
3	講演会	2件	14件
4	イベント	2件	3件
5	その他	1件	8件
	合計	20件	50件